

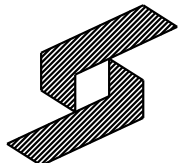
川房地区複合型園芸施設整備事業 機械設備（その2）工事

実施設計図

発注者：南 相 馬 市
設計者：(株)盛総合設計

I N D E X

図面番号	図面名称 (M)	縮尺 (A1)	図面番号	図面名称	縮尺 (A1)	図面番号	図面名称	縮尺 (A1)
M- 0	機械設備 図面リスト	NONSCALE	M-3 6	排煙設備 機器表・排煙口リスト・系統図	NONSCALE	M-7 2	井戸工事 井水・ろ過装置廻り詳細図(2)	1/50
M- 1	機械設備関係工事特記仕様書(共通)	NONSCALE	M-3 7	排煙設備 ダクト平面図	1/150	M-7 3	井戸工事 サンドセパレーター仕様図	1/10
M- 2	機械設備特記仕様書(1)	NONSCALE	M-3 8	自動制御設備 中央監視システム構成図	NONSCALE	M-7 4	ろ過装置設備仕様図(1)	NONSCALE
M- 3	機械設備特記仕様書(2)	NONSCALE	M-3 9	自動制御設備 機能仕様	NONSCALE	M-7 5	ろ過装置設備仕様図(2)	NONSCALE
M- 4	機械設備特記仕様書(3)	NONSCALE	M-4 0	自動制御設備 中央監視点一覧表・警表・機器表	NONSCALE	M-7 6	ろ過装置設備仕様図(3)	NONSCALE
M- 5	機械設備工事試験内容一覧表	NONSCALE	M-4 1	自動制御設備 計装図	NONSCALE	M-7 7	ろ過装置設備仕様図(4)	NONSCALE
M- 6	特記工事区分表	NONSCALE	M-4 2	自動制御設備 低溫外調機・残渣槽廻り配線図	1/150	M-7 8	ろ過装置設備仕様図(5)	NONSCALE
M- 7	機械設備 凡例表(1)	NONSCALE	M-4 3	自動制御設備 空調機制御配線図	1/150	M-7 9	空気配管設備 機器表・系統図・V/L/V設置詳細図	1/50
M- 8	機械設備 凡例表(2)・メーカーリスト	NONSCALE	M-4 4	自動制御設備 外調機・給湯・ガス設備制御配線図	1/100	M-8 0	空気配管設備 圧縮空気・産業配管平面図	1/150
M- 9	機械設備 案内図・配置図	1/400	M-4 5	自動制御設備 空調機集中管理システム配線図	1/150	M-8 1	観測井戸工事 構造図・フロー	1/200
M-1 0	空調設備 機器表(1)	NONSCALE	M-4 6	自動制御設備 井水・ろ過装置廻り配線図	1/30	M-8 2	浄化槽設備 平面・断面図	1/40
M-1 1	空調設備 機器表(2)	NONSCALE	M-4 7	衛生設備 器具表	NONSCALE	M-8 3	浄化槽設備 配管・電気図	1/40
M-1 2	空調設備 機器表(3)	NONSCALE	M-4 8	給排水設備 機器表	NONSCALE	M-8 4	浄化槽設備 動力制御盤図	NONSCALE
M-1 3	空調設備 機器表(4)	NONSCALE	M-4 9	給排水設備 系統図(1)	NONSCALE	M-8 5	排水処理設備 特記仕様書	NONSCALE
M-1 4	空調設備 機器表(5)	NONSCALE	M-5 0	給排水設備 系統図(2)	NONSCALE	M-8 6	排水処理設備 フローシート	NONSCALE
M-1 5	空調設備 機器表(6)	NONSCALE	M-5 1	給排水設備 区分表 配管要領図	1/30	M-8 7	排水処理設備 平面図(1)	1/50
M-1 6	空調設備 系統図(1)	NONSCALE	M-5 2	給水設備 配置図	1/400	M-8 8	排水処理設備 平面図(2)	1/50
M-1 7	空調設備 系統図(2)	NONSCALE	M-5 3	給水設備 屋外配管平面図	1/150	M-8 9	排水処理設備 断面図(1)	1/50
M-1 8	空調設備 空調機冷媒配管平面図	1/150	M-5 4	給水設備 井水配管平面図(1)	1/100	M-9 0	排水処理設備 断面図(2)	1/60
M-1 9	空調設備 外調機冷媒配管平面図	1/150	M-5 5	給水設備 井水配管平面図(2)	1/100	M-9 1	排水処理設備 電気図	1/60
M-2 0	空調設備 除湿機・送風機平面図	1/150	M-5 6	給水設備 冷水・電解水配管平面図(1)	1/100	M-9 2	排水処理設備 動力制御盤図	NONSCALE
M-2 1	空調設備 ドレン配管平面図(1)	1/150	M-5 7	給水設備 冷水・電解水配管平面図(2)	1/100	M-9 3	機械設備 雑詳細図(1)	図示
M-2 2	空調設備 ドレン配管平面図(2)	1/150	M-5 8	給水設備 電解水機械室詳細図	1/30	M-9 4	機械設備 雑詳細図(2)	1/50
M-2 3	空調設備 ドレン配管平面図(3)	1/150	M-5 9	排水設備 樹リスト	NONSCALE	M-9 5	機械設備 雑詳細図(3)	図示
M-2 4	空調設備 低溫外調機詳細図	1/50	M-6 0	排水設備 配置図	1/400	M-9 6	(参考図)断面図(1)	1/150
M-2 5	(参考図)加工機械・冷媒・冷水設備 詳細図	1/50	M-6 1	排水設備 屋外配管平面図	1/150	M-9 7	(参考図)断面図(2)	1/150
M-2 6	空調設備 蒸気配管 系統図	NONSCALE	M-6 2	排水設備 平面図(1)	1/100	M-9 8	残渣加工機械リスト	NONSCALE
M-2 7	空調設備 蒸気配管平面図(1)	1/100	M-6 3	排水設備 平面図(2)	1/100	M-9 9	残渣加工機械キープラン	1/150
M-2 8	空調設備 蒸気配管平面図(2)	1/100	M-6 4	給排水設備 便所廻り詳細図	1/50	M-100	H01 残渣処理機械図	1/25
M-2 9	空調設備 蒸気配管ボイラー室廻り詳細図	1/30	M-6 5	給排水設備 残渣処理室・ボイラー室廻り詳細図	1/30	M-101	H02A ウルトラエナスクリーン詳細図 H02B オートクレーンユニット詳細図	1/10 1/15
M-3 0	換気設備 機器表(1)	NONSCALE	M-6 6	給湯・ガス設備 平面図	1/100	M-102	H03 工場内Δポンプ詳細図	1/40
M-3 1	換気設備 機器表(2)	NONSCALE	M-6 7	ガス設備 機器表・バルクタンク廻り詳細図	1/20	M-103	H03A、H03C 投入ホッパー部・フェンスカバー部 階段・作業台・専用乗台部 詳細図	1/5 1/10 1/20 1/50
M-3 2	換気設備 前室口リスト	NONSCALE	M-6 8	消火設備 系統図・ポンプ室詳細図	1/30		H04 ガストホッパー詳細図	
M-3 3	換気設備 系統図(1)	NONSCALE	M-6 9	消火設備 平面図	1/150			
M-3 4	換気設備 系統図(2)	NONSCALE	M-7 0	井戸工事 構造図	NONSCALE			
M-3 5	換気設備 ダクト平面図	1/150	M-7 1	井戸工事 井水・ろ過装置廻り詳細図(1)	1/50			



株式会社 盛総合設計

代表取締役社長 栗原 将 光
宮城県仙台市青葉区上杉三丁目3-16 〒980-0011
TEL (代表) 022-222-6887 FAX 022-224-2397
事務所登録 宮城県 第23210188号

訂正

発行
2025.10

図

工事名

川房地区複合型園芸施設整備事業 機械設備(その2)工事

図番

M-00

図面名

機械設備 図面リスト

通番

管理番号
一般建築士登録
第101316号

栗原 憲 昭

設計者
一般建築士登録
第289308号

伏見 勇 男

縮尺

A1N/S

福島県建築関係工事特記仕様書 【R7年10月版】

I 工事概要

1 工事名称 川房地区複合型園芸施設整備事業 機械設備(その2)工事

2 工事場所 福島県南相馬市小高区川房字田中1,2-1,2-2,2-3,3-1,3-2,4,5,6,7,8,9-1,10-1,11,12,13,14,15,16,17,18,水の一部

	建物概要					
	建 物 名 称	構 造	階 数	延面積 (㎡)	消防法施行令別表第1区分	備 考
棟1	野菜加工工場	鉄骨造	1／0	3,825.75 m2	工場・作業場(12)項イ(加工工場本体)	
棟2	廃水処理施設	鉄筋コンクリート造	1／0	63.78 m2	工場・作業場(12)項イ(別棟機械室)	
棟3	育苗施設 F 棟	鉄骨造(テント工法)	1／0	324.00 m2	工場・作業場(12)項イ(育苗作業場)	
棟4	薬注庫	鉄骨造(プレハブ)	1／0	8.67 m2	工場・作業場(12)項イ(別棟機械室)	

※詳細は工事概要書による。

4 電気設備工事概要

(本工事における工事種目ごとの概要を示すもので仕様を規定するものではない。○印を付けたものが該当項目となる)	
受電設備	配電盤 (・ 屋内用 ・ 屋外用) ○ キュービクル式配電盤 ・ 高圧スイッチギヤ 設備容量 ○ 変圧器総容量 (2,700) kVA
電力貯蔵設備	○ 直流電源装置 (・ 非常用照明電源、受変電設備制御電源共用 ・ 受変電設備制御電源専用) ○ 非常用照明電源専用 (・ 交流無変電装置 用途 (・ 容量 () kW
発電設備	原 動 機 () 発 電 機 () 相 () 線式 電圧 () V 50 HZ 定格出力 () kVA ・ 太陽光発電装置 太陽電池アレイ公称出力 () kVA ・ () 発電装置 () kVA
中央監視制御設備	管理点数 () 点 管理対象 ・ 電力設備 ・ 発電設備 ・ 防災設備 ・ 給排水衛生設備 ・ 空気調和設備 ・ 昇降機設備 (・ ()

5 機械設備工事概要

(本工事における工事種目ごとの概要を示すもので仕様を規定するものではない。○印を付けたものが該当項目となる)	
空気調和方式	・ ダクト方式 (・ 中央 ・ 各单元ユニット) ・ FCU方式 ・ FCU+ダクト併用方式
主要熱源機器	・ 吸収冷温水機 ○ 吸収冷温水機ユニット ・ マルチパッケージ型空調調和機 ・ 空気熱源ヒートポンプユニット ○ パッケージ型空調調和機 ・ ガスエンジンヒートポンプ式空調調和機 ・
換 気 設 備	機械換気 (○ 有 ・ 無)
排 煙 設 備	機械排煙 (○ 有 ・ 無)
自動制御設備	・ 電気式 ・ 電子式 ・ デジタル式
給 水 設 備	・ 水道直結方式 ・ 高置タンク方式 (・ 上水 ・ 井水 ・ 中水) ○ ポンプ直送方式 (・ 上水 ・ 井水 ・ 中水) ・ 増圧ポンプ方式
排 水 設 備	建物の汚水と雑排水 (○ 分流 ・ 合流) ポンプ排水 (・ 有 (・ 湧水 ・ 雨水 ・ 雑排水 ・ 汚水) ○ 無) 汚水放流先 (・ 公共下水道 ○ し尿浄化槽) 雑排水放流先 (・ 公共下水道 ○ し尿浄化槽 ○ 側溝)
消 火 設 備	○ 屋内消火栓 (○ 1号 ・ 2号) ・ 屋外消火栓 ・ 連絡送水 ・ 連絡放水 ・ スプリンクラー ・ ハロゲン化物消火 ・ 二酸化炭素消火 新ガス系消火 ・ フード等用簡易自動消火 ○ 滅火器
ガ ス 設 備	・ 都市ガス (①供給業者名) ○ 液化石油ガス ②種別 ③発熱量 MJ/M ³)

II 工事仕様

1 図面及び本特記仕様書に記載無き事項は、次による。

※ 「福島県建築関係工事共通仕様書」(福島県土木部)
※ 「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」(令和7年版) (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)
※ 「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)」(令和7年版) (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)
※ 「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)」(令和7年版) (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)

※ 「建築工事標準詳細図」(令和7年版) (国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修)
※ 「公共建築設備工事標準図」(電気設備工事編) (令和7年版) (国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修)
※ 「公共建築設備工事標準図」(機械設備工事編) (令和7年版) (国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修)

・ 「公共建築改修工事標準仕様書」(建築工事編) (令和7年版) (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)
・ 「公共建築改修工事標準仕様書」(電気設備工事編) (令和7年版) (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)
・ 「公共建築改修工事標準仕様書」(機械設備工事編) (令和7年版) (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)

・ 「公共建築木造工事標準仕様書」(令和7年版) (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)
・ 「建築物解体工事共通仕様書」(令和4年版) (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)

・ ()

なお、公共住宅建設にあつては、次を併せて適用する。
※ 「公共住宅建設工事共通仕様書(令和4年度版)」(公共住宅事業者等連絡協議会編集)

2 項目は、番号の前に○印、または番号に○印の付いたものを適用する。適用しない項目等は斜線、・印、または無印とする。

3 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と※印の付いた場合は、両方を適用する。
※印を適用しない場合は、・ に変えること。

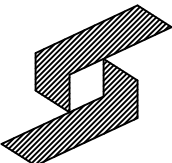
4 形状寸法の単位は、特記した場合を除き ミリメートルとする。

5 各章の特記事項欄にある〔県： 〕と表示されているものは、「建築関係工事共通仕様書」を示し、() 書きは「公共建築改修工事標準仕様書」、〔 〕 書きは「公共建築改修工事標準仕様書」の章・節・項番号である。

6 本特記仕様書に選択項目がない場合は、空欄等に仕様を記載する。

項 目	特 記 事 項
1 一般共通事項	○ 1 適用基準等 ※ 共通仕様書(土木工事編) (福島県土木部) ※ 建築工事、電気設備工事、機械設備工事、建築改修工事監理指針 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修) ※ ふくしま公共施設等ユニバーサルデザイン指針 ○ 建築工事標準仕様書・同解説(日本建築学会) (適用工種 ・ 全工程 ・ 一部工種 (JASS)) ※ 建築関係工事における週休2日促進工事試行要領※ 建築・設備工事における入札時積算数量書活用方式試行要領 ※ 工事書類チェックリスト (福島県土木部) ※ 建築関係工事における情報共有システムの運用 ※ 建設キャリアアップシステム活用工事実施要領 ・ 下記以外は図示等による。 (1) 工事車両の駐車場 (※ 構内 ・ ()) (2) 資材置き場 (※ 構内 ・ ()) (3) 建設発生土(埋戻し、盛り土用)の仮置場所 (※ 構内 ・ ()) ○ 2 施工条件 ○ 3 工事実績データの作成、登録 4 電気保安技術者 ○ 5 技能士 工事請負代金が500万円以上の場合は適用する。 ・ 配置する ・ 配置しない ※ 適用する ・ 適用しない 適用工事種別 作業の種類 等級区分 鉄筋工事(鉄筋施工、鉄筋組立て作業) ・ 全て ・ () ・ 1級 ・ 1又は2級 コンクリート工事(型枠施工) ・ 全て ・ () ・ 1級 ・ 1又は2級 鉄骨工事(とび) ・ 全て ・ () ・ 1級 ・ 1又は2級 ブロック、ALCパネル工事、PCカーテンウォール工事 (ブレイク建築、ALCパネル施工、カーテンウォール施工、ガッパ施工、ガッパ施工) 防水工事(タタキ防水工事作業、合成ゴム系シート防水工事作業、塗膜防水工事作業、シーリング防水工事作業) ・ 全て ・ () ・ 1級 ・ 1又は2級 石工事(石材施工(石張り施工)) ・ 全て ・ () ・ 1級 ・ 1又は2級 タイル工事(タイル張り) ・ 全て ・ () ・ 1級 ・ 1又は2級 木工事(建築大工) ・ 全て ・ () ・ 1級 ・ 1又は2級 木造工事(建築大工) ・ 全て ・ () ・ 1級 ・ 1又は2級 屋根及びとい工事(建築板金(内外装板金作業)) ・ 全て ・ () ・ 1級 ・ 1又は2級 金属工事(内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業)) ・ 全て ・ () ・ 1級 ・ 1又は2級 左官工事(左官) ・ 全て ・ () ・ 1級 ・ 1又は2級 建具工事(サッシ施工、ガラス施工、自動ドア) ・ 全て ・ () ・ 1級 ・ 1又は2級 塗装工事(塗装(建築塗装作業)) ・ 全て ・ () ・ 1級 ・ 1又は2級 内装工事(プラスチック床仕上げ工事作業、ボード仕上げ工事作業、表装(壁装作業)、重工) ・ 全て ・ () ・ 1級 ・ 1又は2級 植栽工事(造園) ・ 全て ・ () ・ 1級 ・ 1又は2級 配管工事(配管) ・ 全て ・ () ・ 1級 ・ 1又は2級 保温工事(熱絶縁施工) ○ 全て ・ () ・ 1級 ○ 1又は2級 冷凍空調調和機器施工(冷凍、冷却及び空調調和機器の据付及び整備) ○ 全て ・ () ・ 1級 ○ 1又は2級 ダクト製作及び取付(建築板金施工) ○ 全て ・ () ・ 1級 ○ 1又は2級 ※作業数量が少量の場合は、適用の有無について監督員と協議することができる。 ○ 6 イメージアップ 7 発生材の処理 ・ 有価物 () ・ 引き渡しを要するもの (保管場所は、監督員の指示による) ・ ポリ塩化ビフェニル含有物(PCB) ・ 金属類 () ・ 現地において再利用化を図るもの 建設副産物 処理方法等 備考 ・ 建設副産物の処理方法 建設副産物 処理方法 積算上の施設名称(※1) ・ 再資源化 ・ 中間 ・ 最終(一般) ・ 最終(特別管理産業廃棄物) ・ 再資源化 ・ 中間 ・ 最終(一般) ・ 最終(特別管理産業廃棄物) ・ 再資源化 ・ 中間 ・ 最終(一般) ・ 最終(特別管理産業廃棄物) ・ 再資源化 ・ 中間 ・ 最終(一般) ・ 最終(特別管理産業廃棄物) ・ 再資源化 ・ 中間 ・ 最終(一般) ・ 最終(特別管理産業廃棄物) ・ 再資源化 ・ 中間 ・ 最終(一般) ・ 最終(特別管理産業廃棄物) COA処理木材の処理 石粉含有セメントボードの処理 ・ あり ・ なし ヒ素・カドミウム含有セメントボードの処理 あり(改修標準 9.15による) ・ なし 製造業者に処分を委託する PCB含有シーリング材の処理 ・ あり ・ なし ・ 蛍光ランプ、水銀ランプの処理方法 建設副産物 処理方法 積算上の施設名称(※1) 蛍光ランプ ・ 中間 ・ 水銀ランプ ・ 中間 ・ 注：積算上の施設(※1)は積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。処理施設については、監督員の承諾を得ること。また、処理施設が積算上の施設と異なる場合でも設計変更の対象とはしない。 ○ 8 監督員事務所 ・ 設ける(規模： m2程度) ※ 設けない 備品については、監督員の指示による ・ 別途建築工事による ○ 9 工事用表示板 ※ 適用する ・ 適用しない (県：第1編 図1.3.1) ○ 10 施工歴欄 ※ 適用する (・ 設置は建築工事とする) ・ 適用しない (県：第1編 図1.3.3) ○ 11 色彩計画 ※ 色彩計画あり (・ 図示 ○ 監督員との協議による) ・ 色彩計画無し ○ 12 使用材料等 使用材料の製造者、製品及び施工業者等は特記されたもの又は同等以上とする。 ただし、同等以上とする場合は、監督員の承諾を受ける。 また、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」により評価された海外製造の建築材料・設備機材等についても同様扱いとする。 ○ 13 特別な材料の工法 共通仕様書等に記載されていない特別な材料の工法は、監督員の承諾を受けて、当該製品の指定工法による。 ○ 14 風荷重等 ※ 建築基準法に基づき定められた風速 (V0) (30 m/sec) ※ 建築基準法に基づき定められた積雪荷重 () ※ 地表面粗度区分 ・ I ・ II ○ III ・ IV ○ 15 記録報告 1) 報告時期 工事履行報告書は、下記により提出する。 ※ 毎月1回 ・ 監督員の指示 ※ 工事履行報告書、工事別工程進捗表、主要材料搬入状況、当月の出来高状況、工事状況写真 内 容 月間工程表、各工程の区分毎の社内検査報告書(写真含む) ○ 16 電子納品 電子成果品は、福島県電子納品ガイドライン(営繕工事編)により納品を行う。 対象書類 (※工事写真 ・ 施工計画書 ※完成図 ・ その他 ()) ※ 検査用機器(パソコン、モニター等)は、受注者が準備する。 原則モニターのサイズは、21～24インチ程度とし、解像度はアスペクト比16:9の場合1920×1080以上、アスペクト比16:10の場合1920×1200以上とする。 ※ 工事写真のサムネイル一覧を提出する。 ○ 17 完成時の提出書類 (1) 完成図書 (※ 提出する ・ 提出しない) ・ 黒表紙(金文字) A4版(1部) ※ ハードファイルA4版(1部) (2) 建築物の保全に関する書類 (※ 提出する ・ 提出しない) ハードファイルA4版(1部) (3) 完成図 (※ 提出する ・ 提出しない) A2版、A3版2つ折り製本(各1部) (4) C A Dデータ、PDFデータ(1式) (※ 提出する ・ 提出しない) (※C A Dデータ提出の場合には、オリジナルCADデータも提出のこと。) (※PDFデータとは、C A DデータをPDF形式で保存したものを。) 第1編〔総則〕1.8.4〔完成図その他〕によるほか、下記による (1) 種類及び記入内容 種類 記入内容 ○ 19 設計C A Dデータ貸与 ※ 有 ・ 無

一般共通事項	○ 20	工事検査	提出写真 工事検査に際し、下記により写真を監督員に提出する。 <table><tr><th></th><th>着 工 前</th><th>工 事 中</th><th>竣 工</th><th>部 数</th></tr><tr><td>既 済 検 査</td><td>○</td><td>○</td><td>1 部</td></tr><tr><td>竣 工 検 査 (既 済 後)</td><td>○</td><td>○ (○)</td><td>1 部 (1 部)</td></tr></table> ※ 上記以外の必要写真は、監督員の指示による。 ※ 撮影は福島県土木部制定「建築設備工事写真管理基準」による。		着 工 前	工 事 中	竣 工	部 数	既 済 検 査	○	○	1 部	竣 工 検 査 (既 済 後)	○	○ (○)	1 部 (1 部)
		着 工 前	工 事 中	竣 工	部 数											
	既 済 検 査	○	○	1 部												
	竣 工 検 査 (既 済 後)	○	○ (○)	1 部 (1 部)												
	○ 21	建設工事使用機械等	※ 建設工事による排出ガス対策型建設機械を使用すること。 ※ 建設工事に伴う騒音振動対策技術指針に基づき、低騒音型建設機械を使用すること。 ※ 建設機械等のアイドリングストップを実施し、その点検を行うこと。													
	○ 22	設計 G L	※ 図示による。 B M± (0)													
	○ 23	既存部分等への処置	工事施工に際し、既存部分を汚染又は損傷した場合は監督員に報告するとともに承諾を受けて現状に準じて補修すること。													
	○ 24	他工事との取合い	工事区分 別表－1 による。 施工図 設備機器の設置、取合いなどが検討できる施工図を提出し、監督員の承諾を受けること。													
	○ 25	建築材料 設備機器等	ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆又は規制対象外 本工事に使用する建築材料、設備機器等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとすること。また、再生資源利用できるものを積極的に使用すること。													
	○ 26	電気工事士	電気工事士法の適用除外となっている最大電力 5 0 0 k V 以上の需要設備の工事においても、第 1 種電気工事士により施工を行う。													
○ 27	火災保険等	(1) 火災保険 ※ 適用する (※ 保険期間：工期＋14日 ・ 適用しない) ※ 加入時期 (※ 躯体及び建方完了時 ・ 着手日(現場施工に着手する日) (2) 法定外の労災保険の付保 ※ 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。														
○ 28	官公庁への 諸手続き等	関係官庁、電力会社等への手続きは、すべて受注者がこれを代行し、これに要する費用は受注者の負担とする。 ただし、特記ある事項は別途とする。														
○ 29	概成工期	○ 総合試運転調整を行う期間を設けること。 調整期間は、(○ 契約工期末の 3 0 日 間 ・ ()) ○ 設備への電源供給開始時期は下記のとおりとする。なお、本受電後の電力基本料金は、 2 ヶ月分とする。 ① 供給開始時期 (○ 契約工期末の 6 0 日 前 ・ ()) ② 供給対象設備 (○ 熱源機器類 ○ 空気調和設備機器類 ○ ポンプ類 ○ 自動制御設備類) (・ ()) (・ ()) ○ 工事等受注者間での調整による) ○ 実施工程表に、次の該当する項目を明記すること。(・ 概成工期 ・ 受電日 ・ 総合試運転調整に要する工程)														
・ 30	B E L S 申請書作成及び 申請手続き	(1) 建築物省エネルギー性能表示制度 (B E L S) の申請書作成及び申請手続き ・ 行 っ 行わない ※ 分限発注の場合は、 ・ ※ 建築 ・ 工事受注者が、申請書作成及び手続き業務を行う。 (2) 分限発注の場合は、申請書作成者へ申請に必要な書類を提出すること。 (3) 建築物に B E L S 表示を行う。 ※ B E L S 表示は、申請書作成及び手続きを行う受注者が行う。 表示は、(材質：) (サイズ：) となる。														
○ 31	週休 2 日促進工事	※ 本工事の発注方式は、発注者指定型である。 ○ 週休 2 日促進工事 (・ 通期 ・ 月単位) ・ 週休 2 日交替制促進工事 (・ 通期 ○ 月単位) ・ 完全週休 2 日促進工事														
○ 32	入札時積算数量書活用方式	※ 本工事は「入札時積算数量書活用方式」の対象工事である。 本方式では、入札時において発注者が入札時積算数量書を示し、入札参加者が入札時積算数量書に記載された積算数量を活用して入札に参加する場合において、工事請負契約の締結後に生じた当該積算数量の疑義について、発注者及び受注者は、入札時積算数量書に基づき、積算数量に関する協議を行うことができる。														
○ 33	情報共有システム	※ 建築関係工事共通仕様書〔県：第 1 編 1.1.25〕による。														
○ 34	遠隔臨場	※ 建築関係工事共通仕様書〔県：第 1 編 1.1.26〕による。														
○ 35	建設キャリアアップシステム (C O U S)	(1) 本工事は、「福島県土木部発注工事等における建設キャリアアップシステム活用工事実施要領」の対象工事である。 (2) 受注者は実施要領に定める事項について遵守しなければならない。														
○ 36	その他	本工事の施工にあたって資機材及び労働者の調達に時間を要することが判明し、受注者から協議があった場合は、工事の一時中止及び工期の変更について検討し、決定するものとする。														
仮設工事	2	1 仮囲い	・ 波形鉄板 ・ 万能板等 ・ 単管＋シート張り ・ () ・ キャスターゲート ・ シートゲート ・ ()													
	2 危険防止	※ シート張り ・ 金アミ ・ ()														
	○ 3 足場	・ 本工事 (※ 内部足場 ・ 外部足場 ・ 基礎足場 ・ コンクリート打設足場) なお、本工事で設置した足場、機橋、作業構台の類は、無償で別契約の関係受注者等に使用させること。 ○ 別途 (別契約の関係受注者が設置した足場、機橋、作業構台の類は、無償で使用できる。) 足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について(厚生労働省 基発第 0 4 2 4 0 0 1 号平成 2 1 年 4 月 2 4 日)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」により行うこと。 「手すり先行工法」の足場とは、全層に二段手すりかつま先板(幅木)のある足場をいう。 受注者は、工事着手前に足場の種類及び設置方法等について、監督員と協議すること。														
	○ 4 工事用水	・ 利用できる (・ 有償 ・ 無償) ※ 利用できない 構内既存の施設														
	○ 5 工事用電力	・ 利用できる (・ 有償 ・ 無償) ※ 利用できない 構内既存の施設														
	○ 6 工事用進入路	・ 仮設道路造成 ○ (既存利用)														
	○ 7 ペンチマーク	設置方法 ※ コンクリート杭 ・ 固定物 ○ 図示(側溝天端)														
	8 交通誘導警備員	※ 置く(計 人) ・ 置かない ・ 置く期間 () 指定路線 ※ 該当無 ・ 該当有 〔県：第 1 編 1.2.13〕														
	・ 9 仮設備関係	仮設備の設置条件 使用期間及び借地条件 ※ 図面による ・ その他 () ・ 別途協議 転用回数 (回) 兼用 ・ 有り (図面による) ※ 無し 仮設備の構造及び施工方法の指定 構造及び設計条件 ※ 図面による ・ その他 () ・ 別途協議 施工方法 () その他 ()														
土木工事	3	○ 1 埋戻し及び盛土	種別 ・ A 種 ※ B 種 ・ C 種 ・ D 種 (3.2.3) (表 3.2.1)													
	○ 2 建設発生土の処理	※ 構外指示の場所 搬出先の名称 (南相馬市小高区蹟土遺場) (3.2.5) 搬出先の所在地 (福島県南相馬市小高区塚原浜田 地内) 搬出先での処置 (・ 敷きならし ※ たい積) 運搬距離 (10.0) km なお、受注後、搬出や搬出費用に変更の必要が生じた場合は、協議により変更すること。 協議時には、変更する搬出先が都市計画法(開発許可)、森林法(林地開発)、砂防法、急傾斜地崩壊防止法および盛土規制法(改正宅地造成等規制法)などの諸法令違反ではないこととのわかる資料を監督員に提出すること。 搬出後は、最終形状、数量計算書、写真及び運搬距離等の資料を監督員に提出すること。 ・ 構内指示の場所 (・ 敷きならし ・ たい積) ※ 受注者は、建設発生土処理にあたり 第 1 編〔建築工事〕1.4.2〔施工計画書〕の記載内容に加えて、以下の事項を施工計画書に記載しなければならない。 (1) 処理方法(場所・形状等)(2) 排水計画 (3) 場内維持等 ※ 受注者は、建設発生土受入地ごとの特定条件に応じて施工しなければならない。 ※ 受注者は、雨水の排水処理等をきめて、搬入土砂の周囲への流出防止対策を講じなければならない。														



株式会社 盛総合設計

代表取締役社長 栗原 将光
宮城県仙台市青葉区上杉三丁目3-16 〒980-0011
TEL (代表) 022-222-6887 FAX022-224-2397
事務所登録 宮城県 第23210188号

訂正	発行	工事名	図面名	管理番号	設計者	監理者	図尺
	2025.10	川房地区複合型園芸施設整備事業 機械設備(その2)工事	機械関係工事特記仕様書(共通)	一級建築士登録 第101316号	栗原 憲昭	一級建築士登録 第289308号	A1: NONSCALE A3: NONSCALE
		部長	次長	審査	担当		

[illegible]

[illegible]

1. 給排水・衛生・暖冷房・空調設備

項 目		試 験 時 期				試験方法	試 験 値 及 び 試 験 内 容				最 小 保持時間	備 考
		配 管 中	隠 べ い 前	埋 戻 し 前	配 管 終 了 後							
○ 1	給水装置に該当する管	○	○	○	○	水圧試験	1.75MP a 以上				60分	水道事業者の試験圧力の規定がある場合はそれによる。
○ 2	揚水管等のポンプに直結する配管	○	○	○	○	水圧試験	当該ポンプの全揚程に相当する圧力の2倍 (ただし、最小0.75MP a)				60分	
・ 3	高置水槽以下の配管	○	○	○	○	水圧試験	静水頭に相当する圧力の2倍 (ただし、最小0.75MP a)				60分	
○ 4	給 湯 管	○	○	○	○	水圧試験	上記1、2、3に準ずる。				60分	
・ 5	さや管ヘッダー配管	○	○		○	水圧試験	管 種	初 圧	60分後		60分	60分後に規定の圧力以下 の場合は再試験を行う。 再試験は、共通仕様書による。
							架橋ポリエチレン管	0.75MP a	0.45MP a 以上			
							ポリブテン管	0.75MP a	0.55MP a 以上			
							〔注〕継手部分の漏水の有無を目視確認する。					
○ 6	排水管(屋外埋設管以外)		○	○	○	満水試験					30分	原則、埋戻し前又は最小限 の埋戻しで行う。
						煙 試 験	刺激性の濃煙 250P a				15分	
	排水管(屋外埋設管)			○		満水試験					30分	
○ 7	排水ポンプ吐出管				○	水圧試験	当該ポンプの全揚程に相当する圧力の2倍 (ただし、最小0.75MP a)				60分	
○ 8	各消火ポンプに連結される消火配管		○	○	○	水圧試験	当該ポンプの締切圧力の1.5倍				60分	
・ 9	各種送水口に連結される消火配管		○	○	○	水圧試験	配管の設計送水圧力の1.5倍又は1.75MP aの いずれか大なる圧力 (7と兼用兼用される配管 は7又は8のいずれか大なる圧力)				60分	連結送水管送水口等
・ 10	不活性ガス消火配管		○		○	気密試験 (空気又は窒素)	貯蔵容器から選択弁までは10.8MP a 選択弁から噴射ヘッドまでは最高使用圧力 (選択弁を設けない場合、貯蔵容器から噴 射ヘッドまで最高使用圧力)				10分	
・ 11	粉 末 消 火 配 管				○	気密試験 (空気又は窒素)	貯蔵容器から選択弁までは2.5MP a 選択弁から噴射ヘッドまでは最高使用圧力 (選択弁を設けない場合、貯蔵容器から噴 射ヘッドまで最高使用圧力)				10分	
○ 12	冷温水管、冷却水配管		○		○	水圧試験	最高使用圧力の1.5倍 (ただし、最小0.75MP a)				30分	
○ 13	蒸気配管、高温水管		○	○	○	水圧試験	最高使用圧力の2.0倍 (ただし、最小0.2MP a)				30分	
・ 14	油 管	○	○	○	○	空気圧試験	最大常用圧力の1.5倍				30分	
○ 15	冷 媒 配 管		○		○	気密試験 (空気又は不燃性 ガス)	冷媒ガスの種類		気密試験圧力		外部に発 泡液を塗 布して漏 れのない 事。 その後24 時間放置 して漏れ のない事 。	周囲温度変化による圧力変 化の補正を行う。
							R 2 2	工事監理指針による				
R 1 3 4 a												
R 4 0 7 C												
R 4 1 0 A												
							〔注〕(1) 試験に使用するガスは、窒素ガス、炭酸 ガス又は乾燥空気とする。 (2) 試験終了後、ガスをバージし、真空乾燥 を行う。絶対圧力が0.1MP a 以下になっ てからさらに15分以上真空引きし、密閉放 置して漏れのないことを確かめる。 (3) 配管に冷媒を充填し、運転開始後にガス 検知器を使用して配管の接続部を点検し、 冷媒の漏洩のないことを確認する。 (4) 屋内機と屋外機の連絡配線は、施工後、 絶縁抵抗試験、動作試験を行う。					
・ 16	住宅用暖房配管				○	水圧試験	住戸内 0.15MP a (ただし、温水コンセント接続後は0.1MP a) 住戸内以外 静水頭に相当する圧力の2倍 (ただし、最小0.75MP a)				30分	
○ 17	通 水 試 験				○	通水試験	・ 給水設備～水栓器具等取付後、各々全開又は作動 させ、吐出水が清澄となるまで行う。 また、飲料水配管の場合は、末端にお いて、遊離残留塩素濃度が0.2ppm 検出されるまで消毒を行う。 ・ 排水設備～衛生器具等取付後、行う。 ～空調用ドレン管にも適用する。 ・ 通水試験後、衛生器具等の水量調整を行う。 ・ 給湯設備～給水設備に準ずる。					
○ 18	水 質 試 験				○	簡易試験 (9項目)	塩素イオン、有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)、一般細菌並びに大腸菌群、PH値、臭気、味、色 度、濁度					福島県給水施設等条例並び に(各)市町村給水施設等 条例
○ 19	揚水用ポンプ、小型給水ポンプ ユニット、給湯用循環ポンプ 水道用直結加圧形ポンプ ユニット				据 付 完了後	水圧試験	JIS B8301「遠心ポンプ、斜流ポンプ及び軸流ポン プ試験方法」による				1分	水道事業者の試験圧力の規定 がある場合はそれによる。
○ 20	塩 素 滅 菌 装 置				据 付 完了後	動作試験	注入及び停止をそれぞれ手動、自動運転で10回以上 行い、異常の有無を検査する。					
○ 21	水 槽 類				○	満水試験	満水状態で12時間以上放置し、漏水の有無を検査す る。飲料用の場合は、次亜塩素酸ソーダ溶液等によ り消毒を行う。				12時間	

1. 給排水・衛生・暖冷房・空調設備

項 目		試 験 時 期				試験方法	試 験 値 及 び 試 験 内 容	最 小 保持時間	備 考
		配 管 中	隠べい 前	埋戻し 前	配 管 終了後				
・ 22	鋼 製 ボ イ ラ ー				据 付 完了後	水圧試験	・ 最高使用圧力が0.42MP a以下のものは、最高使用圧力の2倍 (ただし、最小0.2MP a) ・ 最高使用圧力が0.42MP aを超え1.5MP a以下のものは、最高使用圧力の1.3倍に0.3MP aを加えた圧力 ・ 最高使用圧力以上の圧力を受けるおそれのない温水ボイラーは、最高使用圧力に0.1MP aを加えた圧力 (ただし、最小0.2MP a)		
・ 23	鑄鉄製ボイラー				据 付 完了後	水圧試験	・ 蒸気ボイラーは、0.2MP a ・ 温水ボイラーは、最高使用圧力の1.5倍 (ただし、最小0.2MP a) ・ セクションは、最高使用圧力が0.2MP a以下のボイラーは0.4MP a、最高使用圧力が0.2MP aを超えるボイラーは最高使用圧力の2倍		
・ 24	真空式温水発生機				○	気密試験	窒素ガス又はヘリウムガスによる漏れ試験とし、漏れ量は2.03Pa・mL/sec (大気圧換算値) 以下		
・ 25	無圧式温水発生機				○	満水試験		30分	
・ 26	鑄鉄製温水発生機				○	水圧試験	セクションの試験圧は0.6MP a	10分	
・ 27	温水発生機に組込む熱交換器				○	水圧試験	最高使用圧力に0.1MP aを加えた圧力 (ただし、最小0.2MP a)		
・ 28	冷 凍 機				○	水圧試験	設計圧力の1.5倍		冷水及び冷却水水路
・ 29	遠 心 冷 凍 機				○	気密試験	真空95k P aとし、真空降下は12時間に対して1時間当たり50P a以下		運転中の低圧部圧力が大気圧以上となる冷媒を使用するものを除く
・ 30	吸収冷凍機直置き吸収冷温水機小形直置き吸収冷温水機ユニット				○	気密試験	窒素ガス又はヘリウムガスによる漏れ試験とし、漏れ量は2.03Pa・mL/sec (大気圧換算値) 以下		
・ 31	空気調和機の冷水、温水及び蒸気コイル				○	気密及び耐圧試験	空気又は窒素ガス試験とし、試験値は1.0MP a	10分	
・ 32	ファンコンベクター コンベクター ベースボードヒーター パネルラジエーター				○	気密及び耐圧試験	空気又は窒素ガス試験とし、試験値は最高使用圧力の1.3倍 (ただし、最小0.5MP a)		
○ 33	貯 湯 タ ン ク 熱 交 換 器 ヘ ッ ダ ー				据 付 完了後	水圧試験	最高使用圧力の1.5倍に温度補正を行った圧力 Pa=P×σn/σa Pa：補正された試験圧力又は気圧試験圧力 P：補正前の試験圧力又は気圧試験圧力 σn：試験時の温度における材料の許容引張応力 σa：使用温度における材料の許容引張応力		
・ 34	密閉形隔膜式膨張タンク				据 付 完了後	水圧又は気密試験	使用圧力の1.3倍以上		
・ 35	地下オイルタンク				据 付 完了後	水圧試験	70k P a 以上	10分	

2. 浄化槽設備

項 目		試 験 時 期				試験方法	試 験 値 及 び 試 験 内 容	最 小 保持時間	備 考
		配 管 中	隠べい 前	埋戻し 前	配 管 終了後				
○ 1	槽 類				工 事 完了後	満水試験	満水状態で24時間以上放置し、漏水の有無を検査する。	24時間	
○ 2	汚水管及び汚泥管	○		○		満水試験		30分	
○ 3	ポン プ 吐 出 管			○	○	水圧試験	最小圧力0.75MP a	60分	
○ 4	消 泡 管	○		○	○	通水試験			
○ 5	空 気 管	○	○	○	○	気密試験	最高使用圧力の1.1倍	60分	

3. ガス設備

項 目		試 験 時 期				試験方法	試 験 値 及 び 試 験 内 容	最 小 保持時間	備 考
		配 管 中	隠べい 前	埋戻し 前	配 管 終了後				
・ 1	都 市 ガ ス	○	○	○	○	気密試験 点火試験	最高使用圧力の1.1倍以上 ガスメーター取付後、管内空気を排出して行う。	供給会社 規 程	ガス事業法に定める技術基準及びガス供給事業者の供給約款
○ 2	液 化 石 油 ガ ス	○	○	○	○	気密試験	不燃性ガス又は不活性ガスを使用し、高圧側1.56MP a、低圧側8.4k P a以上10.0k P a以下	供給管等の内容積	
								10L以下	5分
								10L～50L	10分
								50L超過	24分
○ 2	液 化 石 油 ガ ス					点火試験	気密試験終了後、管内の空気をガスと入れ替え、指定の圧力に調整された調整器を取付て行う。		

※水圧・気密・空気圧試験等は、試験中の圧力状態が分かるようにチャート紙に記録することが望ましい。
※本一覧表に記載無き項目は、「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）」による。



株式会社 盛総合設計

代表取締役社長 栗 原 将 光
宮城県仙台市青葉区上杉三丁目3-16 〒980-0011
TEL (代表) 022-222-6887 FAX022-224-2397
事務所登録 宮城県 第23210188号

訂正

発行

2025.10

認

工事

を

図面

を

管理

者

第101316号

栗 原 憲 昭

伏 見 勇 男

第289308号

A1:NONSCALE

図 尺

M-05

[illegible]

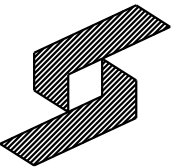
凡 例 表 (2)

記 号	名 称	用 途	管 材	保 温 仕 様
―― ―――	給 水 管 (井 水)	屋 外 露 出	耐衝撃性硬質塩化ビニル管 H I V P	ポリスチレンフォーム保温筒 + S U Sラッキング
		屋 外 土 中	耐衝撃性硬質塩化ビニル管 H I V P	保温なし
		屋 外 土 中	水道用ポリエチレン管 P P	保温なし
		屋 内 一 般 (便所)	一般配管用ステンレス鋼鋼管 S U S	ポリスチレンフォーム保温筒
		屋 内 一 般 (天井内)	一般配管用ステンレス鋼鋼管 S U S	ポリスチレンフォーム保温筒
		加 工 室 (一般)	耐衝撃性硬質塩化ビニル管 H I V P	ポリスチレンフォーム保温筒 ※+ 5℃帯の露出配管は保温なし
		加 工 室 (天井内)	一般配管用ステンレス鋼鋼管 S U S	ポリスチレンフォーム保温筒
―― ● C ―――	チ ラ ー 水 管 (屋外)	屋 外 露 出	耐衝撃性硬質塩化ビニル管 H I V P	冷水保温工事 + S U Sラッキング
		屋 外 土 中	耐衝撃性硬質塩化ビニル管 H I V P	冷水保温工事 + ペトラタム保温工事
―― C ―――	チ ラ ー 水 管 (屋内)	屋 内 一 般	耐衝撃性硬質塩化ビニル管 H I V P	冷水保温工事
		屋 内 一 般 (天井内)	一般配管用ステンレス鋼鋼管 S U S	冷水保温工事
		加 工 室 (一般)	耐衝撃性硬質塩化ビニル管 H I V P	冷水保温工事 ※+ 5℃帯の露出配管は保温なし
		加 工 室 (天井内)	一般配管用ステンレス鋼鋼管 S U S	冷水保温工事 (天井内仕様)
―― E ―――	電 解 水 管	屋 内 一 般	耐衝撃性硬質塩化ビニル管 H I V P	冷水保温工事
		屋 内 一 般 (天井内)	一般配管用ステンレス鋼鋼管 S U S	冷水保温工事
		加 工 室 (一般)	耐衝撃性硬質塩化ビニル管 H I V P	冷水保温工事 ※+ 5℃帯の露出配管は保温なし
		加 工 室 (天井内)	一般配管用ステンレス鋼鋼管 S U S	冷水保温工事 (天井内仕様)
―― I ―――	給 湯 管	屋 外 露 出	一般配管用ステンレス鋼鋼管 S U S	グラスウール保温材 + S U Sラッキング
		屋 内 一 般	一般配管用ステンレス鋼鋼管 S U S	グラスウール保温材
		加 工 室 (一般)	一般配管用ステンレス鋼鋼管 S U S	グラスウール保温材 (露出仕様)
		加 工 室 (天井内)	一般配管用ステンレス鋼鋼管 S U S	グラスウール保温材
―― A ―――	圧 縮 空 気 管	屋 外 露 出	一般配管用ステンレス鋼鋼管 S U S	保温なし
		屋 内 一 般 (天井内)	一般配管用ステンレス鋼鋼管 S U S	保温なし
―― N 2 ―――	窒 素 ガ ス 管	屋 外 露 出	一般配管用ステンレス鋼鋼管 S U S	保温なし
		屋 内 一 般 (天井内)	一般配管用ステンレス鋼鋼管 S U S	保温なし
―― P G ―――	ガ ス 管	屋 外 露 出	密着一層型ポリエチレン被覆鋼管 P L S	保温なし
		屋 外 露 出	硬質塩化ビニル被覆鋼管 P L V	保温なし
		屋 外 土 中	ポリエチレンライニング樹脂管 P E	保温なし
		機 械 室 内	配管用炭素鋼鋼管 (白) S G P (白)	保温なし
―― C ――― ―― VP ―― VP	汚 水 管 排 水 管	暗 渠 内 (便所)	硬質ポリ塩化ビニル管 V P	保温なし
		屋 内 一 般	硬質ポリ塩化ビニル管 V P	保温なし
		屋 内 土 中	硬質ポリ塩化ビニル管 V P	保温なし
―― V U ―――	屋 外 排 水 管	屋 外 土 中	硬質ポリ塩化ビニル管 V U	保温なし
―― V U ―――	雨 水 管	屋 外 土 中	硬質ポリ塩化ビニル管 V U	保温なし
―― ―――	通 気 管	暗 渠 内 (便所)	硬質ポリ塩化ビニル管 V P	保温なし
		屋 内 一 般	硬質ポリ塩化ビニル管 V P	保温なし
		屋 外 露 出	硬質ポリ塩化ビニル管 V P	保温なし
―― S ―――	蒸 気 管 (送り)	屋 内 一 般	配管用炭素鋼鋼管 (黒) S G P (黒)	グラスウール保温材 ※機械室露出
		屋 内 一 般 (天井内)	配管用炭素鋼鋼管 (黒) S G P (黒)	グラスウール保温材
―― S R ―――	蒸 気 管 (返り)	屋 内 一 般	一般配管用ステンレス鋼鋼管 S U S	保温なし ※加工室内の露出配管はグラスウール保温工事 (屋内露出仕様)
		屋 外 露 出	一般配管用ステンレス鋼鋼管 S U S	保温なし
―― R ―――	冷 媒 管 (液・気化共)	屋 内 一 般	冷媒用断熱材被覆鋼管	保温なし
		屋 外 露 出	冷媒用断熱材被覆鋼管	保温なし + ガルバリウム鋼板ラッキング
―― D ―――	ド レ ン 管	屋 内 一 般	空調ドレン用結露防止硬質塩化ビニル管 D P - V P	保温なし
		屋 内 土 中	硬質ポリ塩化ビニル管 V P	保温なし
		屋 外 土 中	硬質ポリ塩化ビニル管 V U	保温なし
―― X ―――	消 火 管 (屋内消火栓)	屋 内 一 般	配管用炭素鋼鋼管 (白) S G P (白)	グラスウール保温材
―― C D ―――	冷 却 水 管 (送り)	屋 内 一 般	配管用炭素鋼鋼管 (白) S G P (白)	保温なし
		屋 外 露 出	配管用炭素鋼鋼管 (白) S G P (白)	保温なし
―― C D R ―――	冷 却 水 管 (返り)	屋 内 一 般	配管用炭素鋼鋼管 (白) S G P (白)	保温なし
		屋 外 露 出	配管用炭素鋼鋼管 (白) S G P (白)	保温なし

参考メーカーリスト ※メーカー名、品番の記載のある場合は、同等品以上とすること。

設備項目	メーカー
1	空調機器
	ホシザキ東北㈱
	パナソニック㈱
	三菱重工冷熱㈱
	日本キャリア㈱
	ダイキンHVACソリューション東北㈱
	三菱電機住環境システムズ㈱
2	外調機
	パナソニック㈱
	日本キャリア㈱
3	低温外調機
	㈱ヤマケンマシナリー
	旭日産業㈱
4	除湿機・エアファン
	ホシザキ東北㈱
	パナソニック㈱
	日本キャリア㈱
	ダイキンHVACソリューション東北㈱
5	換気設備
	三菱電機住環境システムズ㈱
	パナソニック㈱
	日本キャリア㈱
6	排風機
	㈱荏原製作所
	テラル㈱
	ミツヤ送風機㈱
7	外部フード
	三菱電機住環境システムズ㈱
	パナソニック㈱
	日本キャリア㈱
8	SUS製作物
	ホーコス㈱
	空研工業㈱
	㈱亀山鉄工所
9	陽圧タンパー
	㈱ホク総研
	㈱ニトー冷熱製作所
10	排煙タンパーほか
	空研工業㈱
	協立エアテック㈱
11	排煙機
	㈱荏原製作所
	テラル㈱
	ミツヤ送風機㈱
12	冷媒管区画貫通
	因幡電機産業㈱
	未来工業㈱
13	衛生器具
	㈱LIXIL
	TOTO㈱
14	ポンプ類
	㈱川本製作所
	㈱荏原製作所
	テラル㈱
15	受水槽・原水タンク
	三菱ケミカルインフラテック㈱
	積水アクアシステム㈱
16	ブロー
	東浜商事㈱
	新明和工業㈱
	㈱鶴見製作所
17	グリストラップ
	ホーコス㈱
	タクロンシーアイ㈱
	下田エコテック㈱
18	ACトラップ
	ホーコス㈱
	コンドールFRP工業㈱
19	ガス給湯器
	㈱ノーリツ
	リンナイ㈱
	パナバス㈱
20	ガス周り
	㈱優輪商会
	太陽日酸㈱
	㈱マツモト

設備項目	メーカー
21	空気タンク類
	㈱明治機械製作所
	中央オリオン㈱
	㈱優輪商会
22	空気配管設備フィルター
	中央オリオン㈱郡山営業所
23	ろ過装置設備
	三浦工業㈱東京支店
	(株)ウォーターサブライ
	喜栄工業(株)
24	浄化槽
	東北藤吉工業㈱
	㈱西原ネオ
	㈱ダイキアックス
25	排水処理施設設備
	東北藤吉工業㈱
	㈱西原ネオ
	㈱ダイキアックス
26	逆水防止弁
	中部美化企業㈱
27	電気温水器
	㈱日本イトミック
	㈱LIXIL
	TOTO㈱
28	冷媒ガスチャージ費
	ホシザキ東北㈱
	日本建設㈱
	㈱日本テクノシステム
29	煙突
	㈱亀山鉄工所
	効ハシガリレイ㈱
	三浦工業㈱
30	自動制御
	ジョンソンコントロールズ㈱
	アズビル㈱
31	井戸揚水設備工事
	東北ホーリング㈱
	土地地質㈱
	㈱東北地質
32	観測井戸工事
	東北ホーリング㈱
	土地地質㈱
	㈱建設技術センター
33	除砂器
	東北ホーリング㈱
34	蒸気ヘッダー
	㈱亀山鉄工所
	効ハシガリレイ㈱
	三浦工業㈱
35	



株式会社 盛総合設計

代表取締役社長 栗 原 将 光
宮城県仙台市青葉区上杉三丁目3-16 〒980-0011
TEL (代表) 022-222-6887 FAX 022-224-2397
事務所登録 宮城県 第23210188号

訂正

発行

2025.10

図

部長

次長

審査

担当

工事名

川房地区複合型園芸施設整備事業 機械設備(その2)工事

図面名

機械設備 凡例表(2)・メーカーリスト

管理書

一般建築士登録
第101316号

栗 原 憲 昭

設計者

一般建築士登録
第289308号

伏見 勇 男

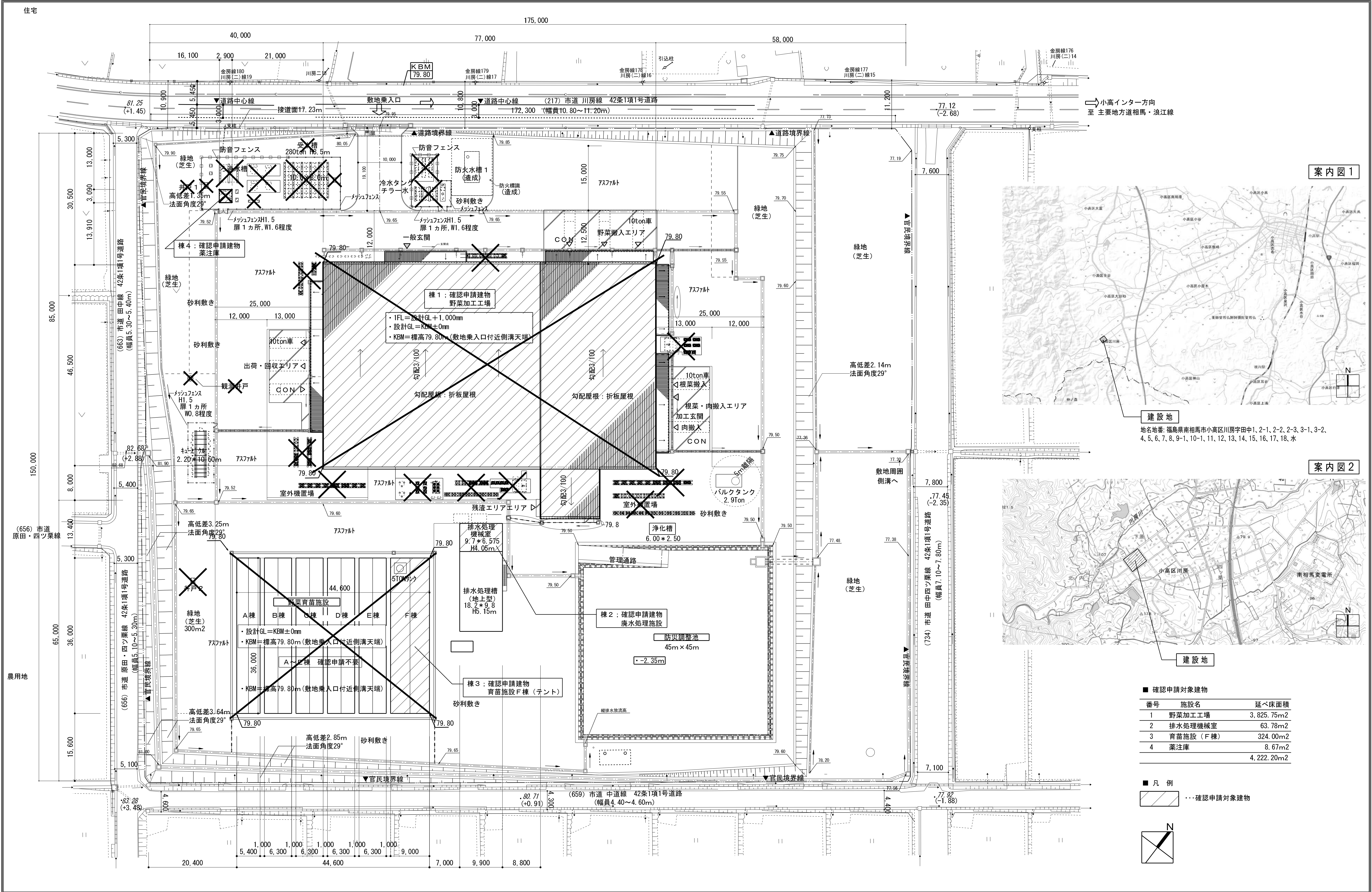
図書

M-08

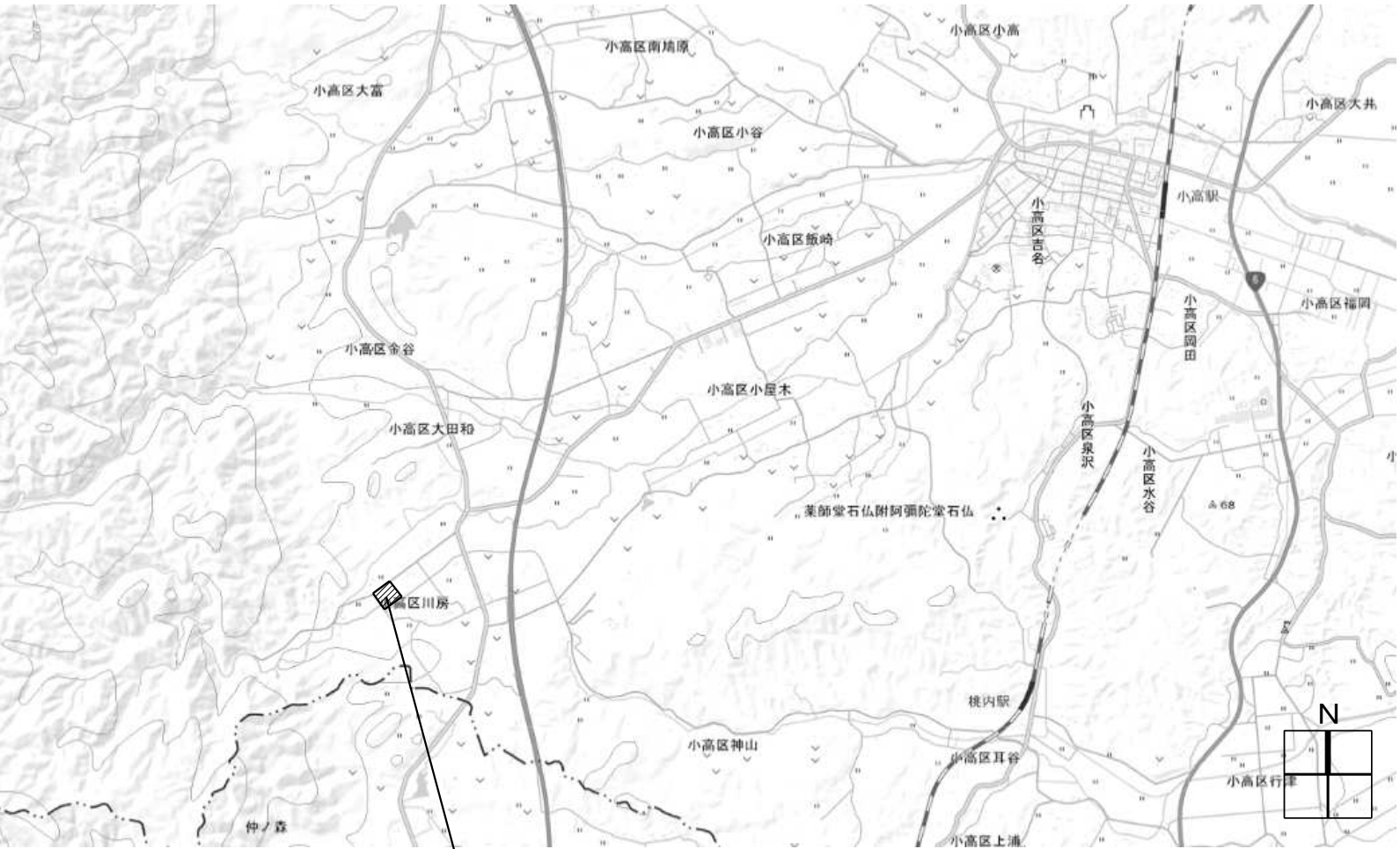
連番

縮尺

A1N/S



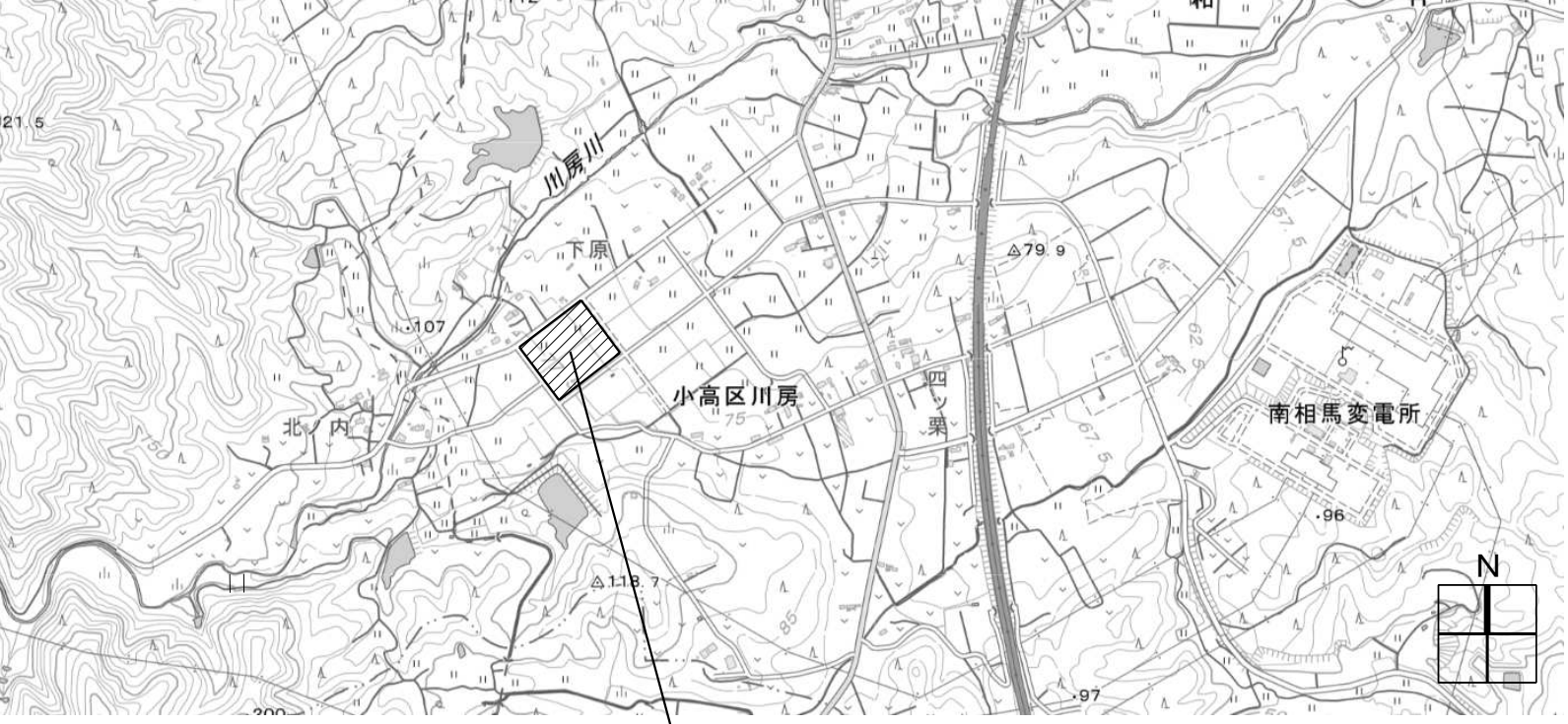
案内図 1



建設地

地名地番: 福島県南相馬市小高区川房字田中1、2-1、2-2、2-3、3-1、3-2、4、5、6、7、8、9-1、10-1、11、12、13、14、15、16、17、18、水

案内図 2



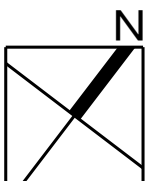
建設地

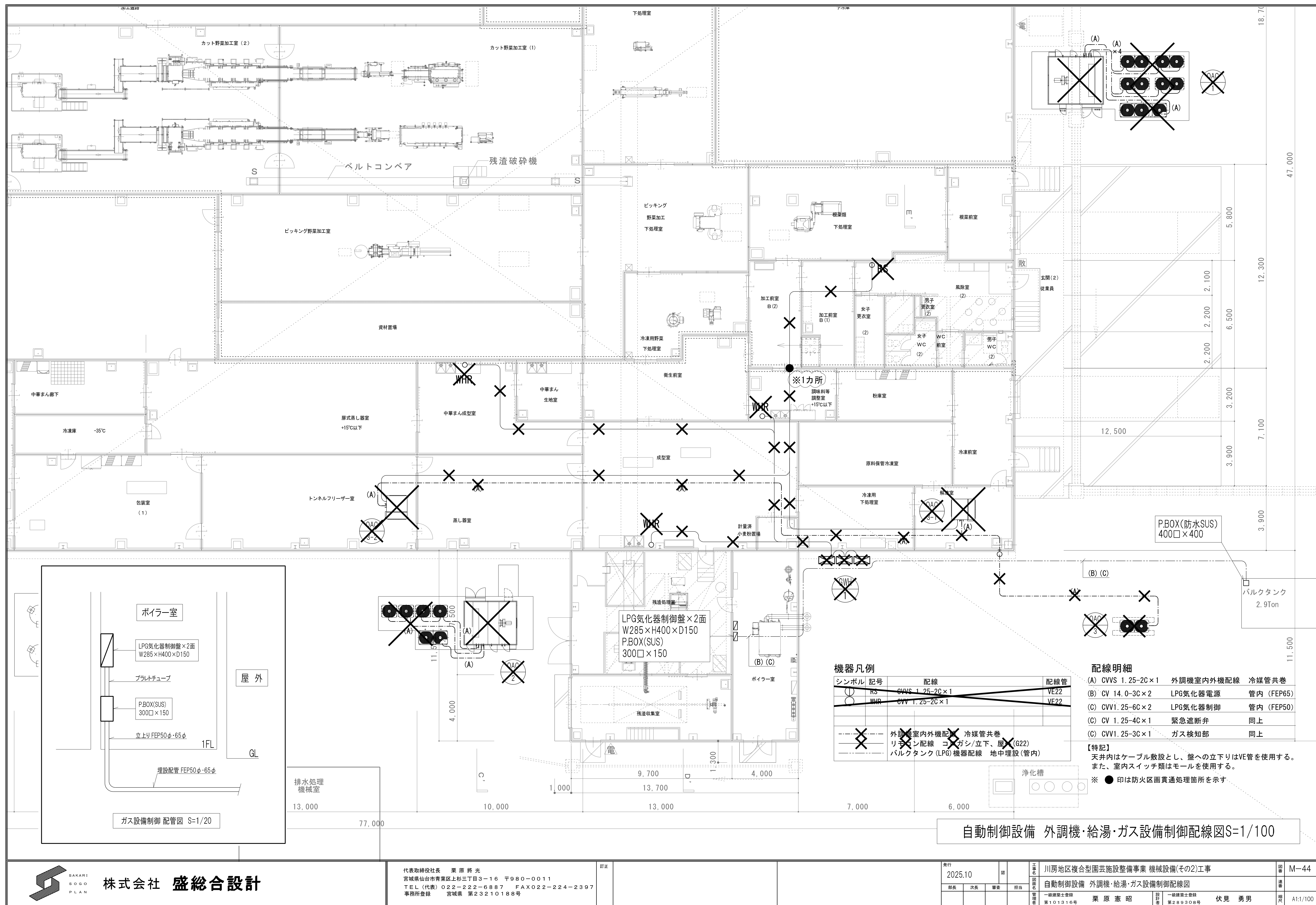
■ 確認申請対象建物

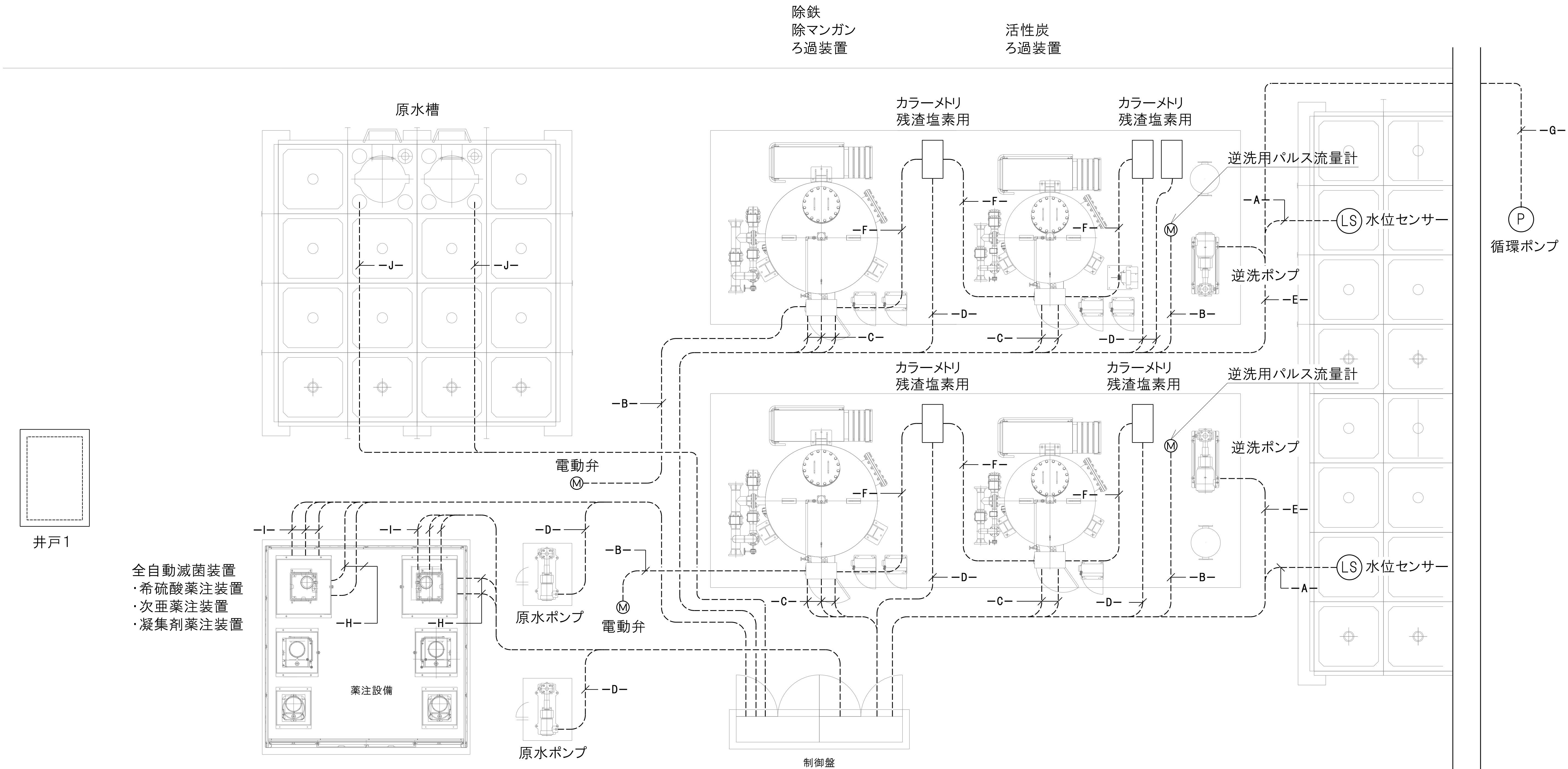
番号	施設名	延べ床面積
1	野菜加工工場	3,825.75m ²
2	排水処理機械室	63.78m ²
3	育苗施設 (F棟)	324.00m ²
4	薬注庫	8.67m ²
		4,222.20m ²

■ 凡 例

... 確認申請対象建物







- ＝ 凡 例 ＝
- －A－ CVV1.25□-2C (GP22)
 - －B－ CVV1.25□-3C (GP22)
 - －C－ CV2□-3C (GP28)
 - －D－ CV2□-4C (GP28)
 - －E－ CV5.5□-4C (GP36)
 - －F－ FCPEV-SB0.9□-1P (GP22)
 - －G－ CV2□-4C (GP28)
 - －H－ CV2□-10C (GP28)
 - －I－ CVV1.25□-14C (GP22)
 - －J－ CV2□-2C (GP22)



株式会社 盛総合設計

代表取締役社長 栗原 将 光
宮城県仙台市青葉区上杉三丁目3-16 〒980-0011
TEL (代表) 022-222-6887 FAX 022-224-2397
事務所登録 宮城県 第23210188号

訂正

発行
2025.10

図
名

工事名
川房地区複合型園芸施設整備事業 機械設備(その2)工事

図書
M-46

図面名
自動制御 井水ろ過装置廻り配線図

図書
A1:1/30

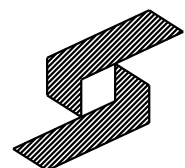
管理番号
一般建築士登録
第101316号 栗原 憲 昭

設計者
一般建築士登録
第289308号 伏見 勇 男

衛生器具表

[illegible]

※メーカー名、品番の記載のある場合は、同等品以上とすること。



株式会社 盛総合設計

代表取締役社長 栗原 将光
宮城県仙台市青葉区上杉三丁目3-16 〒980-0011
TEL (代表) 022-222-6887 FAX 022-224-2397
事務所登録 宮城県 第23210188号

訂正

発行	2025.10
----	---------

--	--	--

工

國名

管理者	一級建築士登録 第101316号
-----	---------------------

工事名	川房地区複合型園芸施設整備事業 機械設備(その2)工事
-----	-----------------------------

衛生設備 器具表

管理者	一級建築士登録 第101316号	栗原憲
-----	---------------------	-----

設計者	一級建築士登録 第289308号
-----	---------------------

機械設備(その2)

設計者	一級建築士登録 第289308号	伏見 勇男
-----	---------------------	-------

圖書	M-47
----	------

博和

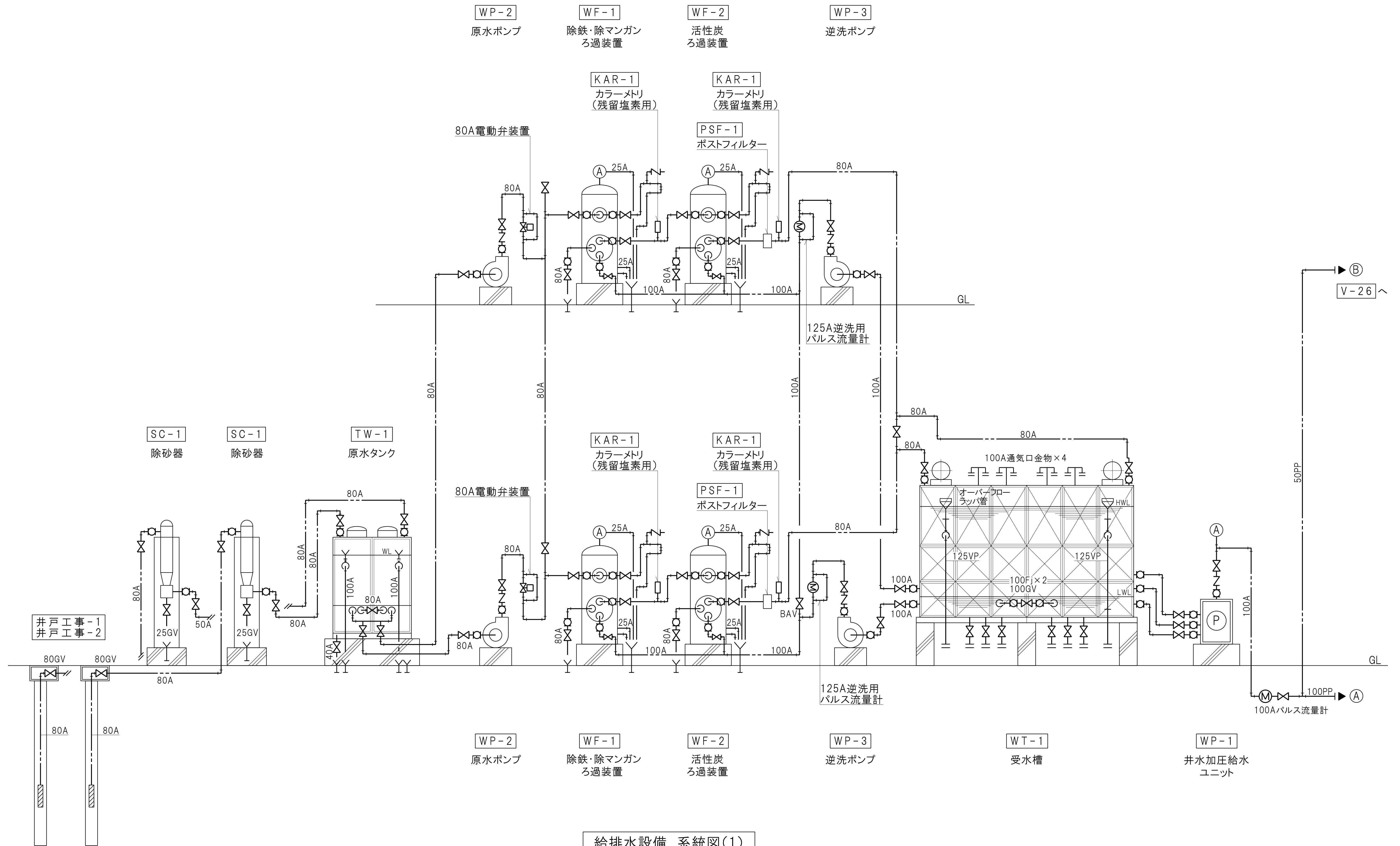
縮尺	A1N/S
----	-------

機器表 ※メーカー名、品番の記載のある場合は、同等品以上とすること。

記号	名 称	機 器 仕 様	電気仕様			台数	設 置 場 所	参 考 型 番
			φ	V	kW			
TW-1	受水槽	型式：FRP製複合板・パネル組立式天板共・2槽式・耐震1.0G 能力：呼称容量280TON(10.0×8.0×3.5H)、有効容量228TON 付属品：マンホール600φ×6・内外タラップ×6・通気口100A×4・ブロー50A×6 電極取付座×2・電極カバー×2・鉄骨平架台150H×75×6.5t フープガード3,000H(背もたれ付外はしご)・他付属品一式				1	屋外	
TW-2	原水タンク	型式：FRP製複合板・パネル組立式天板共・2槽式・耐震1.0G 能力：呼称容量40TON(4.0×4.0×2.5H)、有効容量30TON 付属品：マンホール600φ×2・内外タラップ×2・通気口100A×4 電極取付座×2・電極カバー×2・鉄骨平架台150H×75×6.5t 他付属品一式				1	屋外	
WP-1	井水加圧給水ユニット	型式：ステンレス製速度制御給水ユニット、推定末端一定インバータ制御 3台ロータリー・最大2台運転 能力：100φ×65φ×800L/min×40m 付属品：ステンレス製ポンプカバー・ヒーター付・防振ゴム・他付属品一式	3	200	5.5×2	1	屋外	KFE65T5.5
SC-1	除砂器	型式：サイクロン式水処理機器・屋外型 SS400製・ウレタン樹脂塗装 能力：処理水量～30.0m3/h 付属品：350A上部マンホール・他付属品一式				2	屋外	TBSS-30
WF-1	除鉄・除マンガノ過装置	型式：次亜塩素酸化方式・屋外型・ろ過塔1600φ×2640H(SS400) 能力：最大処理水量30.0m3/h・逆洗流量60m3/h・原水圧力範囲0.49MPa 付属品：アンサライトロ材・Mセラムックろ過・珪石・マンホール400φ・逆洗モーターハルブ 水洗排水モーターハルブ・出口モーターハルブ・逆洗排水モーターハルブ 濁度監視装置(原水および処理水の濁度が監視可能なもの) 作業台1080×575×2530H・他付属品一式 (通水流量計、逆洗流量計、差圧スイッチ、圧力計、圧力スイッチ) ※ろ過装置の詰まり検知機能・詳細な運転状態や履歴、警報の記録や 発報等を遠隔通信可能な機能を搭載しているもの				2	屋外	WA-1900AMM
WF-2	活性炭ろ過装置	型式：マイコン搭載・塔式ろ過装置・屋外型・ろ過塔1300φ×2525H(SS400) 能力：標準処理水量36.0m3/h・逆洗流量29m3/h・原水圧力範囲0.49MPa 付属品：活性炭ろ材・珪石・マンホール400φ・逆洗モーターハルブ 水洗排水モーターハルブ・出口モーターハルブ・逆洗排水モーターハルブ 作業台1080×575×2530H・他付属品一式 ※ろ過装置の詰まり検知機能・詳細な運転状態や履歴、警報の記録や 発報等を遠隔通信可能な機能を搭載しているもの				2	屋外	WA-1200ACM
WP-2	原水ポンプ	型式：渦巻ポンプ・屋外型・ナイロンコーティング・トッランナーモーター 能力：65φ×50φ×400L/min×20m 付属品：防振架台・他付属品一式	3	200	2.2	2	屋外	GEN655M2ME2.2
WP-3	逆洗ポンプ	型式：渦巻ポンプ・屋外型・ナイロンコーティング・トッランナーモーター 能力：80φ×65φ×1,000L/min×28m 付属品：防振架台・他付属品一式	3	200	5.5	2	屋外	GEN805M2ME5.5
WP-4	ラインポンプ	型式：ステンレス製Pラインポンプ・屋外型 能力：25φ×25L / min×10m 付属品：ゲージ取付用フランジ・圧力計	1	100	0.25	1	屋外	PSS2-255-0.25S参照
PSF-1	ポストフィルター	型式：一般用マルチフィルターハウジング・SMCタイプ・SUS304製・耐圧0.49MPa 能力：吸着フィルター750mm・フィルター本数9本・フィルター形状F型 付属品：SUS304 306φ×1212H・カートリッジフィルター・圧力計・ドレンバルブ付 他付属品一式				2	屋外	SHC-750-09-NF
KAR-1	カラーメトリ	型式：屋外・水質監視装置 能力：CMU-324CL 残留塩素用・CMU-324PH 比色式pH監視装置 付属品：受水槽の残留塩素濃度を測定する機器・屋外ボックス・他付属品一式				4	屋外	CMU-324CL CMU-324PH
HPW-1	全自動減菌装置	型式：電磁駆動式薬液注入ポンプ・パルス受信方式一体型 能力：希硫酸薬注：吐出量30ml/min×1～300ストローク/min 次亜薬注：吐出量30ml/min×1～300ストローク/min 凝集剤薬注：吐出量30ml/min×1～300ストローク/min 付属品：50L角タンク×4台・フロートスイッチ×4台・PVC製防液堤(50L用)×4 ポンプ収納庫(鋼製)2900×2990×2570H シャッター付(建築工事) 凝集剤用30Lタンク×2台・フロートスイッチ×2台・PVC製防液堤(30L用)×4 他付属品一式 ※ろ過設備の運転状態や残留塩素濃度と連携して薬品投入量を自動調節 する機能を有しているもの、薬中距離が長いことを加味した設備 であること。	1 1 1	100 100 100	0.015 0.015 0.015	2 2 2	屋外 屋外 屋外	PESG-50、PW-30-VTCF-HWJ PTS-50、CLPW-30-ATCF-HWJ PTS-30A、PW-30-VTCE-HWJ

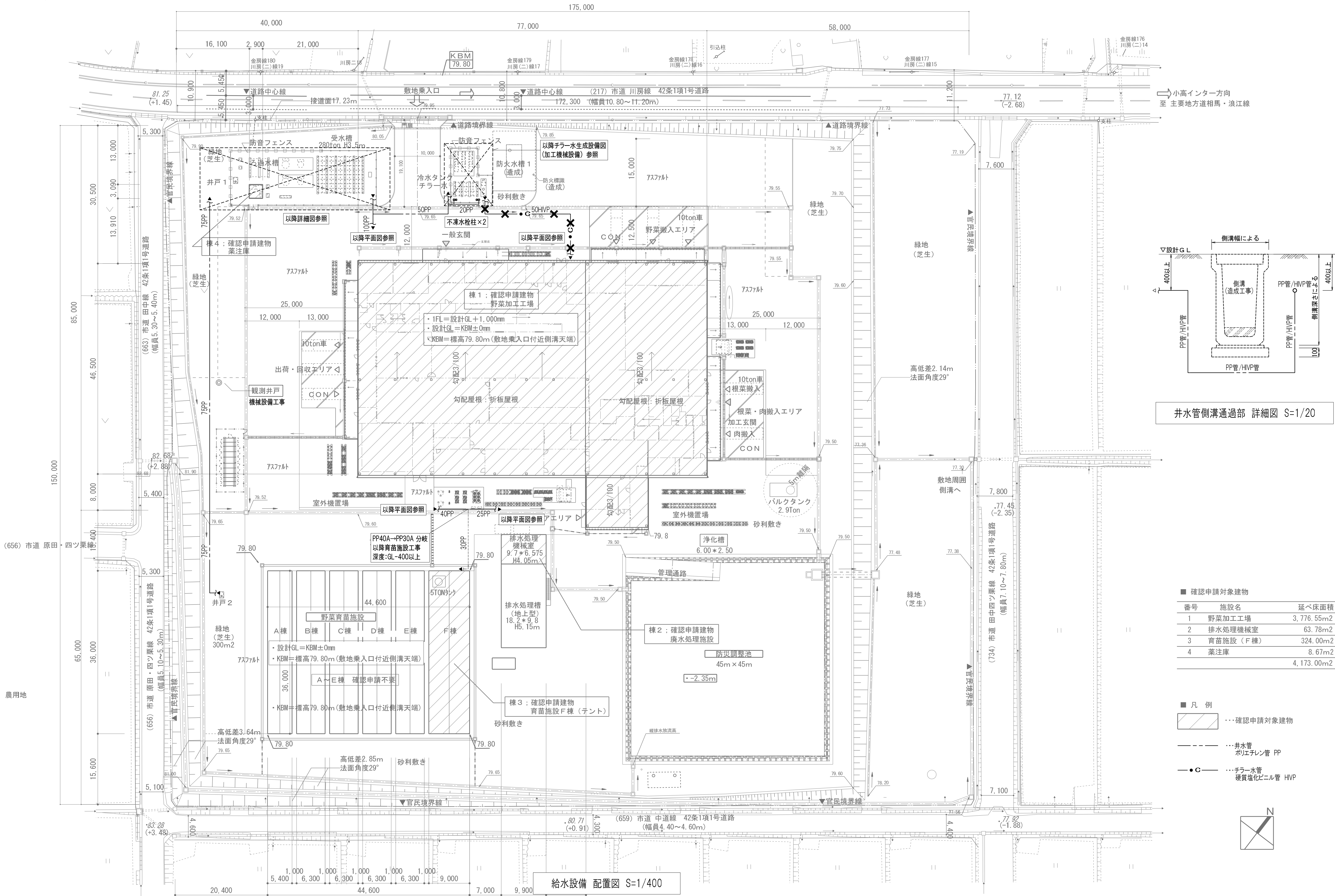
記号	名 称	機 器 仕 様	電気仕様			台数	設 置 場 所	参 考 型 番
			φ	V	kW			
PB-1	ろ過システム制御盤	型式：屋外自立型 W1200×H2200×D370 粉体塗装 マンセル5Y7/1				2	屋外	
PB-2		能力：給水および再生制御、薬注制御、水質追従薬注機能、 水質監視機能、警報監視機能、遠隔通信機能						
		付属品：遠隔通信装置、自立架台、PLC、TP						
PD-1	汚水汚物水中ポンプ (第一槽放流系統)	型式：カッター付ボルテックス・4極・非自動、自交運転 能力：80φ×400L/min×12m	3	200	3.7	2	残渣処理室 (第一槽)	AU4-805-3.7
		付属品：着脱装置・水中ケーブル10m・チェーン8m・他付属品一式						
PD-2	汚水汚物水中ポンプ (第一槽移送系統)	型式：ノンクロック・4極・非自動、自交運転 能力：65φ×360L/min×18m	3	200	3.7	2	残渣処理室 (第一槽)	BU4-655-3.7
		付属品：着脱装置・水中ケーブル10m・チェーン8m・他付属品一式						
PD-3	汚水汚物水中ポンプ (第二槽循環系統)	型式：ノンクロック・4極・非自動、自交運転 能力：80φ×360L/min×24m	3	200	7.5	4	残渣処理室 (第二槽)	BU4-805-7.5
		付属品：着脱装置・水中ケーブル10m・チェーン8m・他付属品一式						
PD-4	汚水汚物水中ポンプ (第二槽放流系統)	型式：ノンクロック・4極・非自動、自交運転 能力：65φ×400L/min×12m	3	200	3.7	2	残渣処理室 (第二槽)	BU4-655-3.7
		付属品：着脱装置・水中ケーブル10m・チェーン8m・他付属品一式						
BFS-1	ブローア (第一槽攪拌系統)	型式：床置・攪拌ブローア カバー付き 能力：50φ×1.2m3/min×35kPa×2.2kW	3	200	2.2	1	残渣収集室	HC-501S
		付属品：防振ゴム敷架台・散気装置25A(RD-170H)×8・他付属品一式						基礎：建築工事
PFU-1	消火ポンプ	型式：呼水槽付ユニット型・起動盤付・易操作性1号消火栓 能力：50φ×40φ×300L/min×65m	3	200	5.5	1	消火ポンプ室	KTK505C5.5
		付属品：制御盤・呼水槽・サクシヨユニット・フート弁(SUS)・フレキシブル継手 SUSサクシヨ管・他付属品一式						
HB-1A	屋内消火栓	型式：埋込型・易操作性1号消火栓・総合盤付 能力：800×300×1,500H(指定色塗装)				1	廊下(1)	
		付属品：30Aバルブ(起動スイッチ付)・30A×30m保形ホース 30A噴霧ノズル・他付属品一式						
HB-1B	屋内消火栓	型式：露出型・易操作性1号消火栓・総合盤付 能力：800×300×1,500H(指定色塗装)				4	カット野菜下処理室 加工通路 出荷前室 衛生前室	
		付属品：30Aバルブ(起動スイッチ付)・30A×30m保形ホース 30A噴霧ノズル・他付属品一式						
GWH-1	ガス給湯器	型式：業務用32号簡単2連対応・屋外壁掛型・高効率型 即湯ユニット付き・マルチシステム架台付	1	100	0.52	1	屋外	GQ-C3222WZ-1
		能力：ガス消費量 58.7kW×2(LPG)	1	100	0.1			PQU-150WS
		付属品：メインリモコン・リモコンコード30m・即湯ポンプユニット システムコントローラー・ポンプ制御用線 マルチ架台・架台カバー・マルチ温水管・マルチガス配管 マルチフレキセット・他付属						
GBT	バルクタンク	型式：LPガスバルク貯槽設置型 能力：容量2900kg				1	屋外	2900B
		付属品：中圧用緊急遮断弁・ガス出口圧力調整器・定流量弁・ボール弁 圧力計・他付属品一式						
KS	LPG気化装置	型式：電熱式ペーパライザー 能力：蒸発能力 100kg・安全弁設定圧力0.96MPa 気化圧力調整弁 0.1～0.18MPa	3	200	14.0	1	屋外	MIN-100ED
		付属品：圧力調整器他・付属品一式						
GT-1	グリーストラップ	型式：レシヨン補強型FRP製・地中埋設・ハーフ流入式・3槽式 能力：許容流入 250L/min 1330×640×650H				1	屋外	RGR-NX250P
		付属品：SUS製蓋・マンホール3枚・受けカゴ(SUS)・レシヨン補強嵩上げ200H バスケット取っ手は600H延長・他付属品一式						
GT-2	グリーストラップ	型式：レシヨン補強型FRP製・地中埋設・ハーフ流入式・3槽式 能力：許容流入 200L/min 1130×640×650H				1	屋外	RGR-NX200P
		付属品：SUS製蓋・マンホール3枚・受けカゴ(SUS)・レシヨン補強嵩上げ200H バスケット取っ手は600H延長・他付属品一式						

 株式会社 盛総合設計	代表取締役社長 栗原 将光 宮城県仙台市青葉区上杉三丁目3-16 〒980-0011 TEL (代表) 022-222-6887 FAX 022-224-2397 事務所登録 宮城県 第23210188号	訂正			<table><tr><td colspan="2">発行 2025.10</td><td colspan="2">認</td><td>工事名 川房地区複合型園芸施設整備事業 機械設備(その2)工事</td><td>図番 M-48</td></tr><tr><td>部長</td><td>次長</td><td>審査</td><td>担当</td><td>図面名 給排水設備 機器表</td><td>通番</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>一級建築士登録 第101316号 栗原 憲昭</td><td>設計者 第289308号 伏見 勇男</td></tr></table>	発行 2025.10		認		工事名 川房地区複合型園芸施設整備事業 機械設備(その2)工事	図番 M-48	部長	次長	審査	担当	図面名 給排水設備 機器表	通番					一級建築士登録 第101316号 栗原 憲昭	設計者 第289308号 伏見 勇男
	発行 2025.10		認		工事名 川房地区複合型園芸施設整備事業 機械設備(その2)工事	図番 M-48																	
	部長	次長	審査	担当	図面名 給排水設備 機器表	通番																	
				一級建築士登録 第101316号 栗原 憲昭	設計者 第289308号 伏見 勇男																		
				一級建築士登録 第289308号 伏見 勇男	縮尺 A1N/S																		

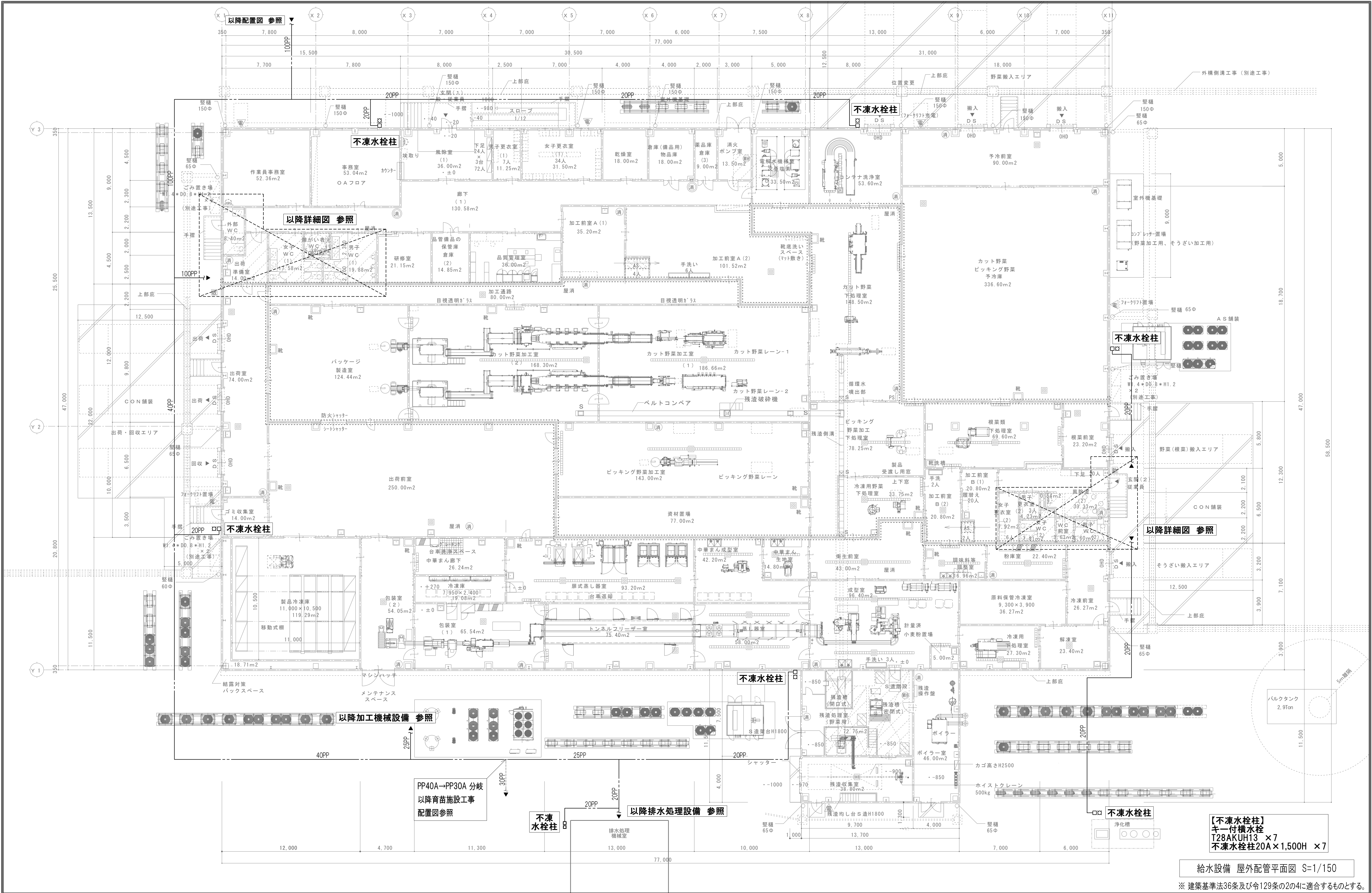


給排水設備 系統図(1)

住宅



※ 建築基準法36条及び令129条の2の4に適合するものとする。



給水設備 屋外配管平面図 S=1/150

※ 建築基準法36条及び令129条の2の4に適合するものとする。

汚水樹一覧表

番号	樹名称	形式	樹径(φ)・管径(φ)	樹深さ	管底高	計画地盤高	蓋の種類	備考
1	小口径インパート樹	90Y	φ200-125		400H	79.52	鑄鉄製防護蓋 T-8	
2	小口径インパート樹	ST	φ200-125		510H	79.52	鑄鉄製防護蓋 T-8	
3	小口径インパート樹	90L	φ200-125		610H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
4	小口径インパート樹	ST	φ200-100		650H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-8	
5	小口径インパート樹	ST	φ200-100		650H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-8	
6	小口径インパート樹	45YS	φ200-125		740H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
7	小口径インパート樹	90Y	φ200-125		780H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
8	小口径インパート樹	ST	φ200-125		910H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
9	小口径インパート樹	ST	φ200-125		1040H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
10	小口径インパート樹	ST	φ200-125		1100H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
11	小口径インパート樹	90L	φ200-125		1280H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
12	小口径インパート樹	ST	φ200-125		1420H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
13	小口径インパート樹	ST	φ300-125		1570H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
14	小口径インパート樹	ST	φ300-125		1710H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
15	小口径インパート樹	90L	φ300-125		1840H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
16	小口径インパート樹	90L	φ300-125		1890H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
17	小口径ドロップ樹	DR	φ200-100		600H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-8	
18	小口径インパート樹	90Y	φ300-125		2010H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-8	
19	小口径インパート樹	ST	φ300-125		2110H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-8	
20	小口径インパート樹	90Y	φ300-125		2180H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
21	小口径インパート樹	ST	φ200-100		700H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
22	小口径インパート樹	90L	φ200-100		750H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
23	小口径インパート樹	90L	φ200-100		860H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
24	小口径インパート樹	90L	φ200-100		910H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
25	小口径インパート樹	ST	φ200-100		980H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-8	
26	小口径インパート樹	90L	φ200-100		1050H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-8	
27	小口径ドロップ樹	DR	φ200-100		1180H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-8	
28	小口径インパート樹	90L	φ200-125		600H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-8	

※地盤高及び樹深さは参考値とする。

雨水樹一覧表

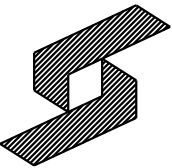
番号	樹名称	形式	樹径(φ)・管径(φ)	樹深さ	管底高	計画地盤高	蓋の種類	備考
A	RC製雨水樹	-	350-350		300	79.50	MHB	
B	雨水枡	RC	350-350		300H	79.50	MHB	
C	雨水枡	RC	350-350		300H	79.50	MHB	
D	雨水枡	RC	350-350		300H	79.50	MHB	
E	雨水枡	RC	350-350		300H	79.50	MHB	
F	雨水枡	RC	350-350		300H	79.50	MHB	
G	雨水枡	RC	350-350		300H	79.50	MHB	
H	雨水枡	RC	350-350		300H	79.50	MHB	
I	雨水枡	RC	450-450		400H	79.50	MHA	
J	雨水枡	RC	450-450		450H	79.50	MHA	
K	雨水枡	RC	450-450		300H	79.50	格子蓋	
L	雨水枡	RC	450-450		300H	79.50	格子蓋	
M	雨水枡	RC	450-450		300H	79.50	格子蓋	
N	雨水枡	RC	450-450		300H	79.50	格子蓋	
O	雨水枡	RC	450-450		300H	79.50	格子蓋	
P	雨水枡	RC	450-450		300H	79.50	格子蓋	
Q	雨水枡	RC	450-450		300H	79.50	格子蓋	
R	雨水枡	RC	450-450		300H	79.50	格子蓋	
S	雨水樹	RC	450-450		300H	79.50	格子蓋	
T	雨水樹	RC	450-450		300H	79.50	格子蓋	

※地盤高及び樹深さは参考値とする。

排水樹一覧表

番号	樹名称	形式	樹径(φ)・管径(φ)	樹深さ	管底高	計画地盤高	蓋の種類	備考
50	小口径トラップ樹	UTK	φ200-150		600H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
51	小口径トラップ樹	UT	φ200-150		650H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
52	小口径トラップ樹	UT	φ200-150		710H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
53	小口径インパート樹	90Y	φ200-150		790H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
54	小口径インパート樹	90L	φ200-150		560H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
55	小口径インパート樹	90Y	φ200-150		650H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
56	小口径トラップ樹	UTK	φ200-150		930H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
57	小口径インパート樹	90Y	φ200-150		1080H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
58	小口径インパート樹	ST	φ200-150		1200H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
59	小口径トラップ樹	UTK	φ200-100		750H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
60	小口径インパート樹	90Y	φ300-150		1350H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
61	小口径インパート樹	ST	φ300-150		1500H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
62	小口径インパート樹	90L	φ300-150		1650H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
63	小口径インパート樹	ST	φ300-150		1790H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
64	小口径インパート樹	90Y	φ300-150		1920H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
65	小口径インパート樹	90L	φ300-150		2110H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
66	小口径インパート樹	90Y	φ300-150		2150H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
67	小口径インパート樹	ST	φ300-150		2320H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-8	
68	小口径インパート樹	90L	φ300-150		2480H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-8	
69	小口径インパート樹	UTK	φ200-100		750H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
70	小口径トラップ樹	UTK	φ200-100		300H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-8	
71	小口径インパート樹	90Y	φ200-150		370H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
72	小口径トラップ樹	UTK	φ200-100		300H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-8	
73	小口径インパート樹	90Y	φ200-150		460H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
74	RC製排水樹	-	450-450		400H	79.50	SUS格子蓋	
75	小口径インパート樹	90Y	φ200-150		480H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
76	小口径トラップ樹	UTK	φ200-100		300H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
77	小口径インパート樹	90Y	φ200-150		600H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
78	小口径トラップ樹	UTK	φ200-100		300H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
79	小口径インパート樹	90Y	φ200-150		710H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
80	小口径インパート樹	90L	φ200-150		800H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
81	小口径インパート樹	90Y	φ200-150		850H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
82	小口径インパート樹	90Y	φ200-150		890H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
83	小口径インパート樹	ST	φ200-150		1010H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
84	小口径トラップ樹	UTK	φ200-150		750H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
85	小口径インパート樹	90Y	φ200-150		1120H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
86	小口径トラップ樹	UTK	φ200-150		750H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
87	小口径インパート樹	90L	φ200-100		500H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
88	小口径インパート樹	90Y	φ200-150		1220H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
89	小口径インパート樹	90Y	φ200-150		1330H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
90	小口径インパート樹	90L	φ200-150		1380H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
91	小口径インパート樹	90L	φ200-150		1500H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-8	
92	小口径インパート樹	ST	φ300-150		1610H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-8	
93	小口径インパート樹	90Y	φ300-150		1720H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-8	
94	小口径インパート樹	90Y	φ300-150		1760H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-8	
95	RC製排水樹	-	450-450		700H	79.50	MHB	
96	小口径インパート樹	90Y	φ300-150		1820H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-8	
97	小口径インパート樹	90Y	φ300-150		1930H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
98	小口径インパート樹	90L	φ300-150		1990H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
99	小口径インパート樹	90L	φ300-150		2020H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
100	小口径トラップ樹	UTK	φ200-100		500H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-8	

番号	樹名称	形式	樹径(φ)・管径(φ)	樹深さ	管底高	計画地盤高	蓋の種類	備考
101	RC製排水樹	-	450-450□		600H	79.50	SUS格子蓋	
102	小口径トラップ樹	UT	φ200-100		610H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-8	
103	小口径トラップ樹	UT	φ200-100		660H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-8	
104	小口径トラップ樹	UT	φ200-100		700H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-8	
105	欠番							
106	小口径トラップ樹	UT	φ200-100		810H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-8	
107	小口径トラップ樹	UT	φ200-100		880H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-8	
108	小口径ドロップ樹	DR	φ200-125		910H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-8	
109	小口径インパート樹	90L	φ200-100		400H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-8	
110	小口径インパート樹	90L	φ200-100		420H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-8	
111	小口径インパート樹	90Y	φ200-100		520H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-8	
112	小口径ドロップ樹	DR	φ200-100		550H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-8	
113	RC製排水樹	-	450-450		500H	79.50	MHB	
114	小口径インパート樹	90L	φ200-100		510H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-8	
115	小口径インパート樹	90L	φ200-150		450H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-8	
116	小口径インパート樹	90L	φ200-150		520H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
117	小口径インパート樹	ST	φ200-150		660H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
118	小口径インパート樹	ST	φ200-150		810H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-8	
119	小口径インパート樹	90Y	φ200-150		960H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-8	
120	小口径インパート樹	ST	φ200-150		1080H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-8	
121	小口径ドロップ樹	DR	φ200-150		1120H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-8	
122	小口径ドロップ樹	DR	φ200-150		600H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-8	
123	小口径トラップ樹	UTK	φ200-100		300H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
124	小口径インパート樹	90Y	φ200-150		500H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
125	小口径トラップ樹	UTK	φ200-100		300H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
126	小口径インパート樹	90Y	φ200-150		520H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
127	小口径トラップ樹	UT	φ300-150		1850H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
128	小口径トラップ樹	UT	φ300-150		1870H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
129	小口径インパート樹	90Y	φ200-150		930H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	
130	小口径インパート樹	90Y	φ200-150		970H	79.50	鑄鉄製防護蓋 T-14	



株式会社 盛総合設計

代表取締役社長 栗原 将 光
宮城県仙台市青葉区上杉三丁目3-16 〒980-0011
TEL (代表) 022-222-6887 FAX 022-224-2397
事務所登録 宮城県 第23210188号

訂正

発行
2025.10

図番

排水設備 樹リスト

工事名

図面名

管理書

設計者

一般建築士登録
第289308号

伏見 勇男

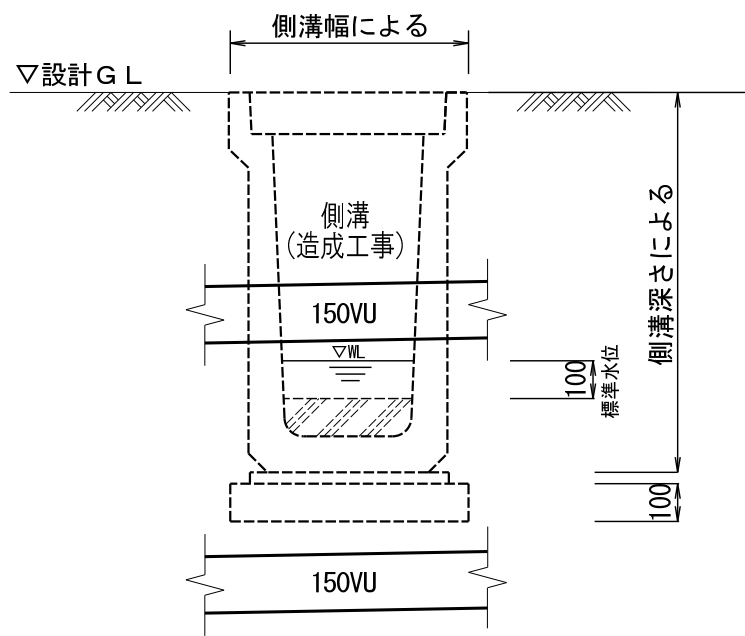
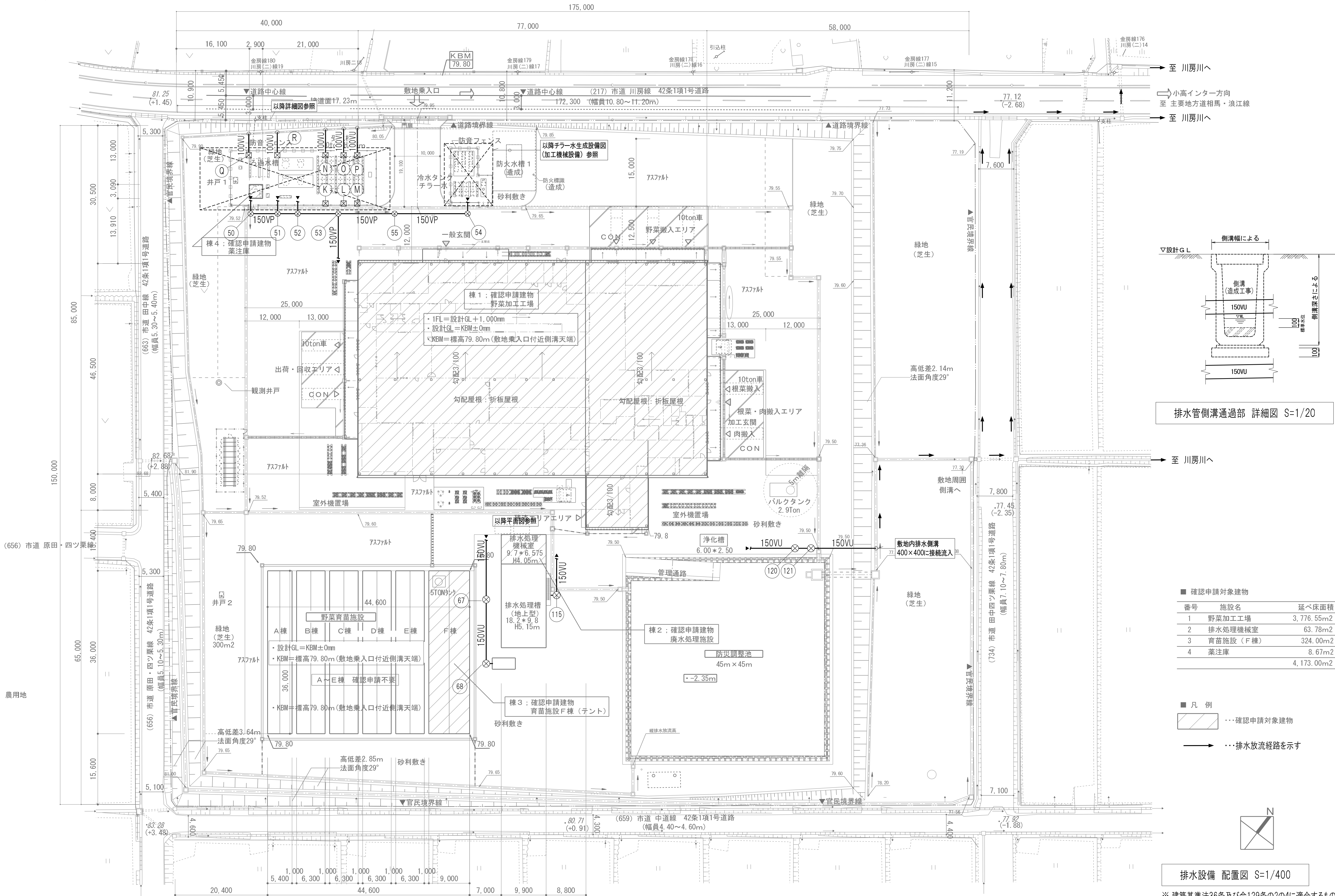
縮尺

A1/N/S

図番

M-59

住宅



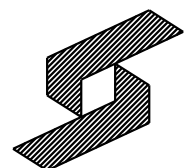
排水管側溝通過部 詳細図 S=1/20

確認申請対象建物		
番号	施設名	延べ床面積
1	野菜加工工場	3,776.55m ²
2	排水処理機械室	63.78m ²
3	育苗施設（F棟）	324.00m ²
4	薬注庫	8.67m ²
		4,173.00m ²

- 凡 例
- ...確認申請対象建物
 - ...排水放流経路を示す

排水設備 配置図 S=1/400

※ 建築基準法36条及び令129条の2の4に適合するものとする。



株式会社 盛総合設計

代表取締役社長 栗原 将 光
宮城県仙台市青葉区上杉三丁目3-16 〒980-0011
TEL (代表) 022-222-6887 FAX 022-224-2397
事務所登録 宮城県 第23210188号

訂正

発行
2025.10

図
部

川房地区複合型園芸施設整備事業 機械設備(その2)工事

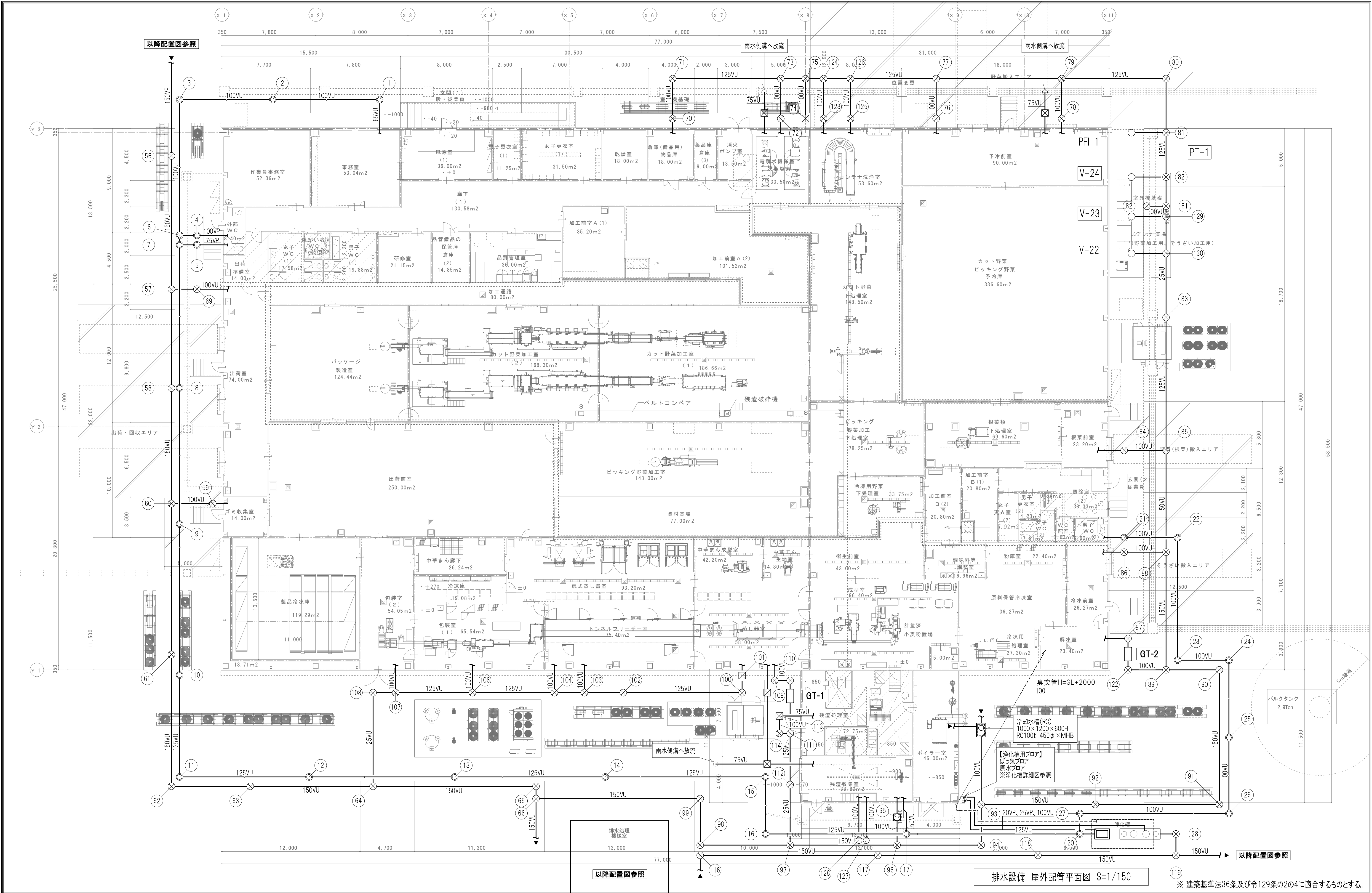
図書
M-60

排水設備 配置図

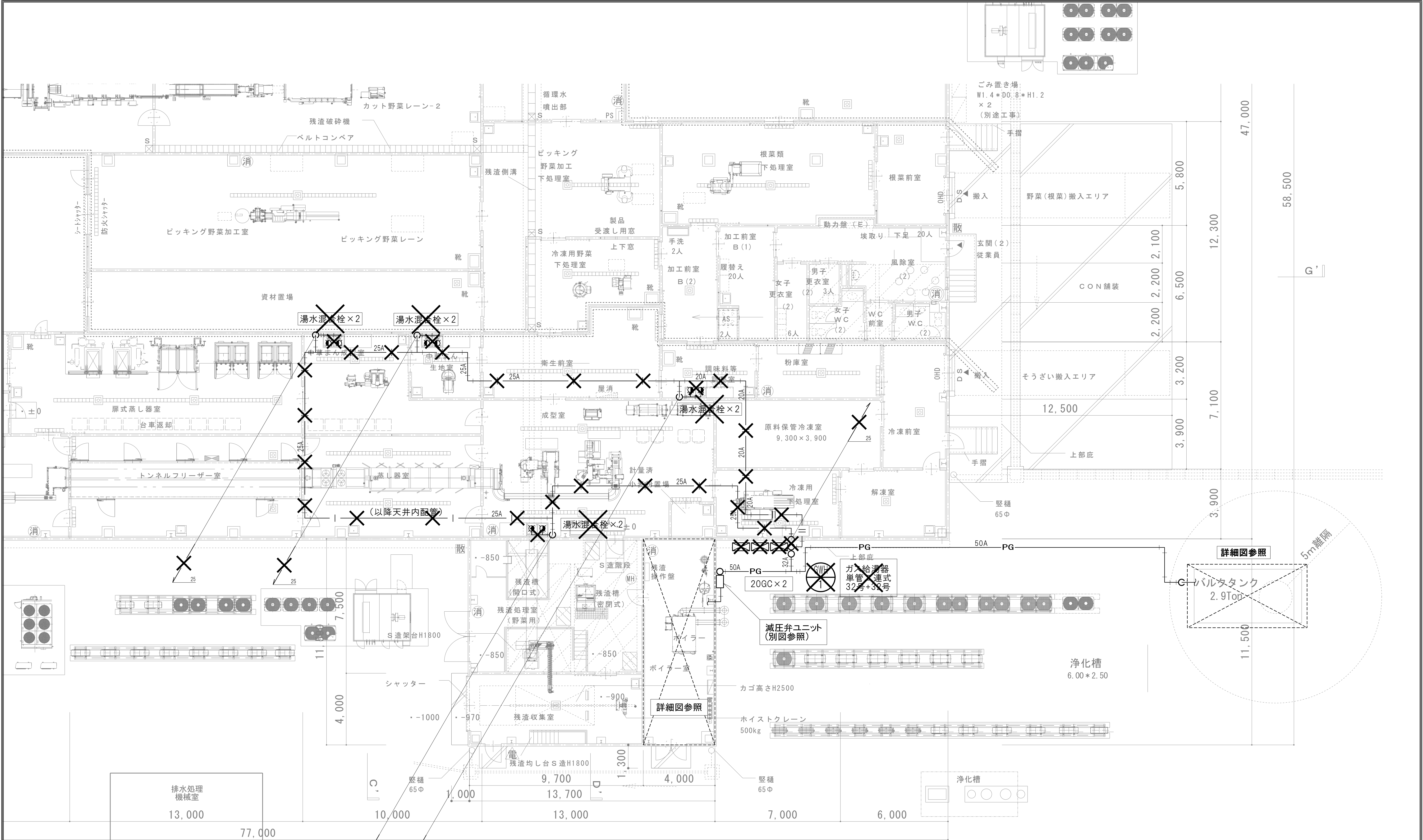
一般建築士登録
第101316号 栗原 憲 昭

設計者
一般建築士登録
第289308号 伏見 勇 男

縮尺
A1:1/400



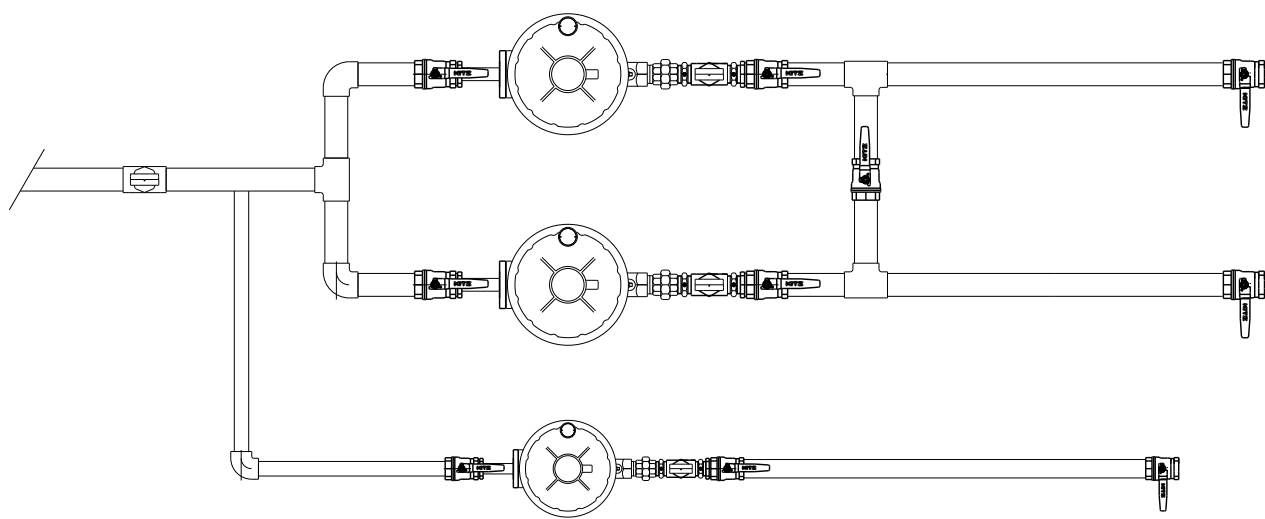
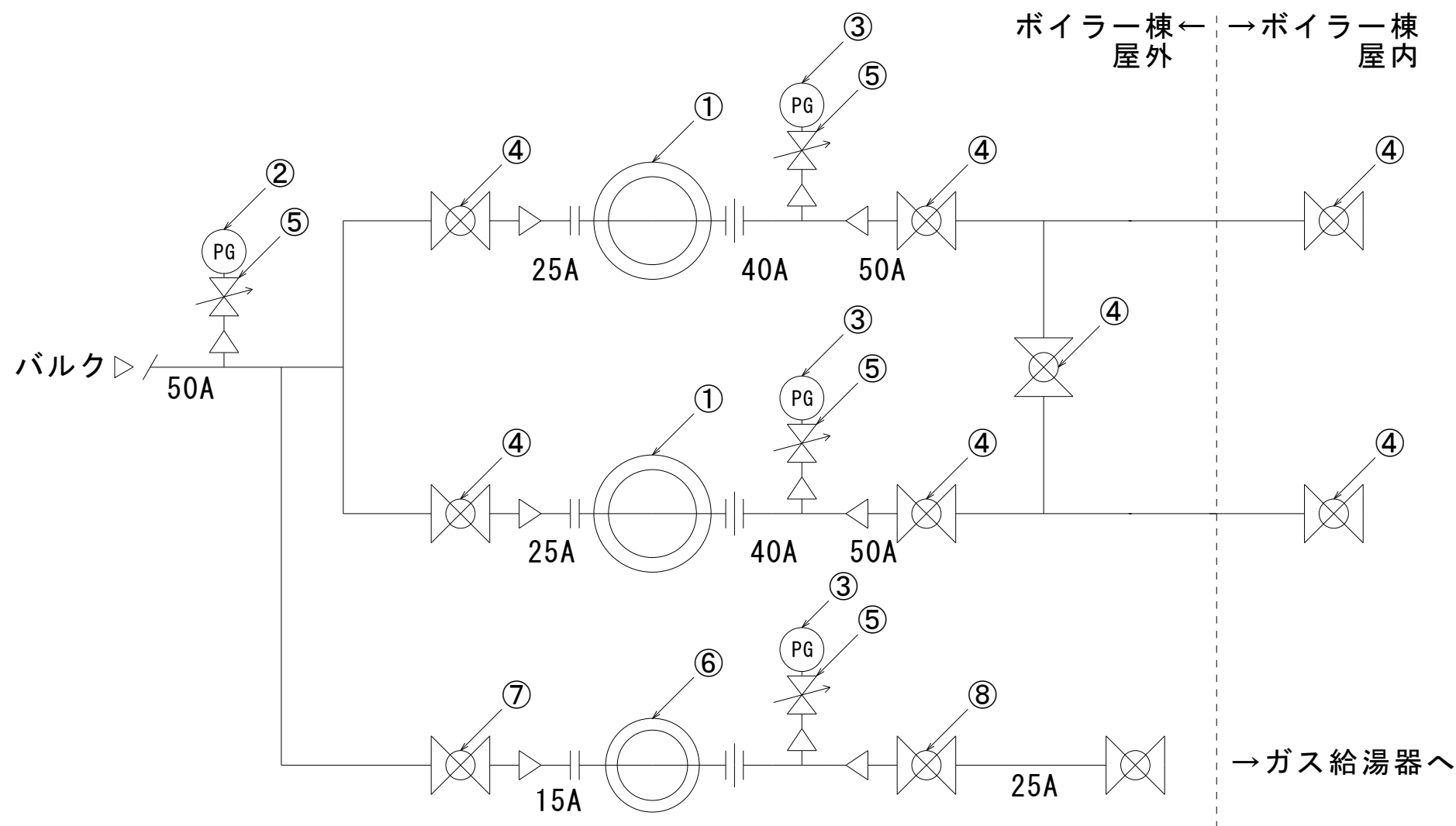
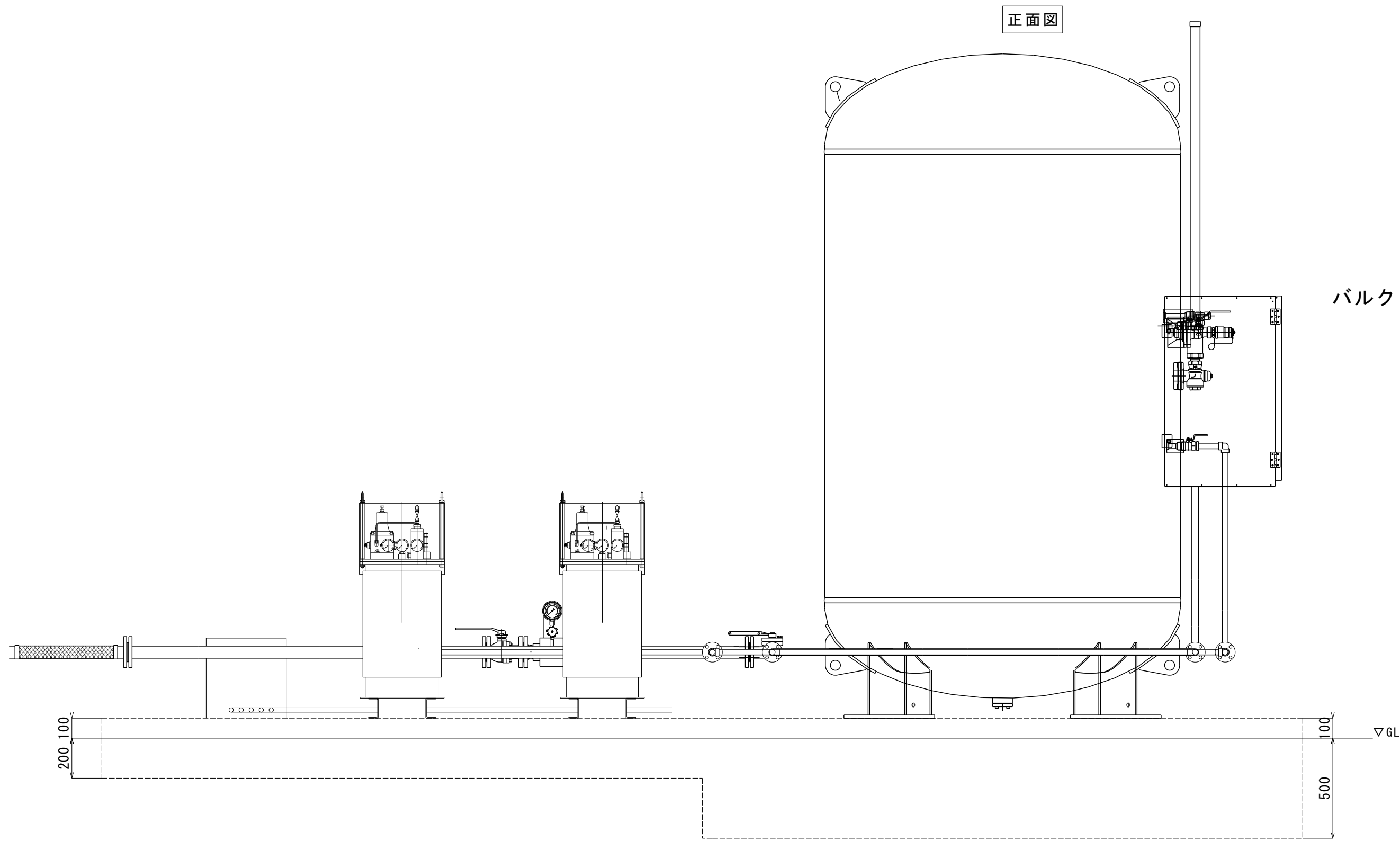
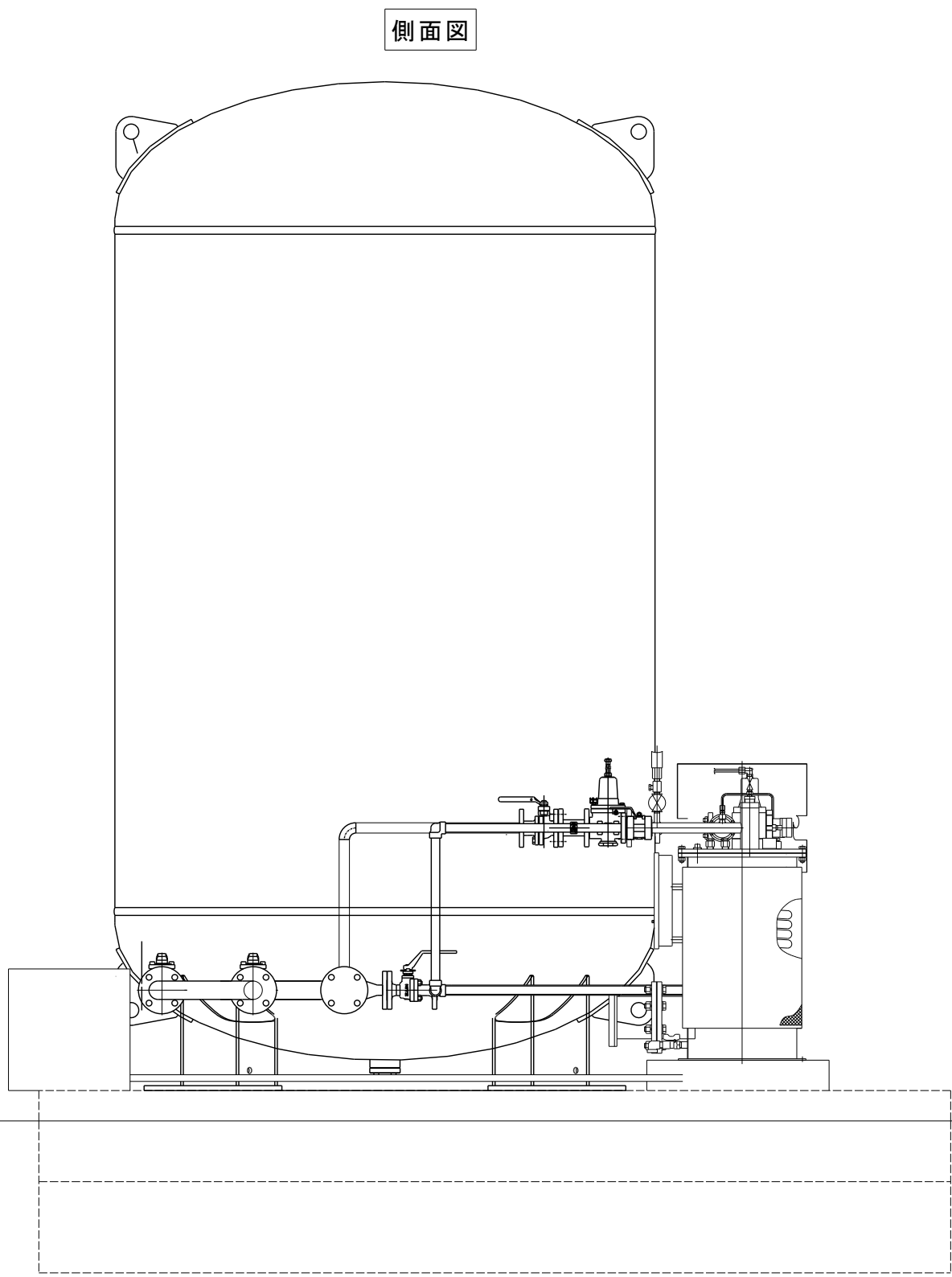
※ 建築基準法36条及び令129条の2の4に適合するものとする。



給湯・ガス設備 平面図 S=1/100

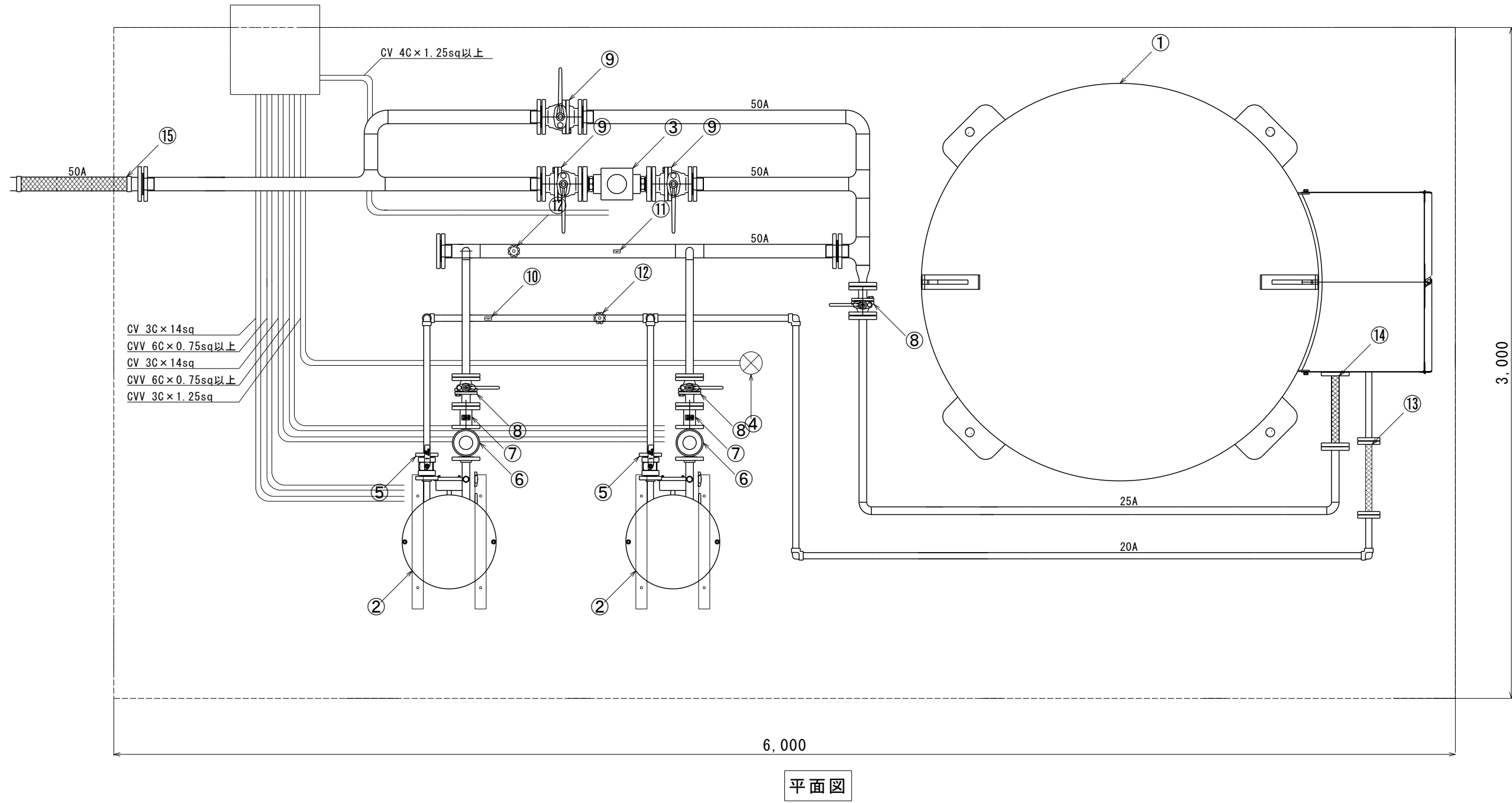
※ 建築基準法36条及び令129条の2の4に適合するものとする。

※給湯配管:SUS管(保温露出部はSUSラッキング)
ガス配管:PF管



機器リスト(バルクヤード内)					配線リスト(バルクヤード内)	
番号	機器名	数量	規格・能力	型式・型番	対象機器	配線詳細
1	2.9 t 貯槽	1	縦型	2900B	蒸発器E-ラ-	CV 3C×14sq
2	消費型蒸発器	2	100kg/h	MIN-100ED	蒸発器制御	CVV 6C×0.75sq以上
3	中圧用緊急遮断弁	1	Re2	VM-50	蒸発器E-ラ-	CV 3C×14sq
4	ガス警報検知部	1	拡散式(防爆)	KD-5G	蒸発器制御	CVV 6C×0.75sq以上
5	液入口バルブ	2	20A		緊急遮断弁	CV 4C×1.25sq以上
6	ガス出口圧力調整器	2	20k20A	KR-100L	ガス検知部	CVV 3C×1.25sq
7	定流量弁	2	10k25A	KFL-100A		
8	ボールバルブ	3	10k25A			
9	ボールバルブ	3	10k50A			
10	圧力計	1	4MPa			
11	圧力計	1	0.25MPa			
12	アングル弁	2				
13	ブレードホース	1	20k20A			
14	ブレードホース	1	10k25A			
15	フランジフレキ	1	10k50A			
16						
17						
18						
19						

※特記事項※ 機器リスト番号は平面図のみに記載しております。

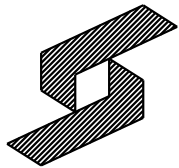


機器リスト(減圧ユニット)			
番号	機器名	数量	規格・能力
1	二段二次調整器	2	100kg/h
2	圧力計	1	0.25MPa
3	圧力計	3	10kpa
4	ボールバルブ	7	50A
5	ニードルバルブ	6	10A
6	二段二次調整器	1	30kg/h
7	ボールバルブ	1	15A
8	ボールバルブ	1	25A
9			
10			

※特記事項※ 減圧ユニットは*イラ-棟付近への設置検討をお願い致します。(別途基礎必要)

ガス設備 (LPG) バルクヤード内 詳細図 S=1/20

ガス設備 (LPG) 減圧ユニット詳細図 S=N/S



株式会社 盛総合設計

代表取締役社長 栗原 将 光
宮城県仙台市青葉区上杉三丁目3-16 〒980-0011
TEL (代表) 022-222-6887 FAX 022-224-2397
事務所登録 宮城県 第23210188号

訂正

発行
2025.10

図番

川房地区複合型園芸施設整備事業 機械設備(その2)工事

M-67

ガス設備 機器表・バルクタンク廻り詳細図

通番

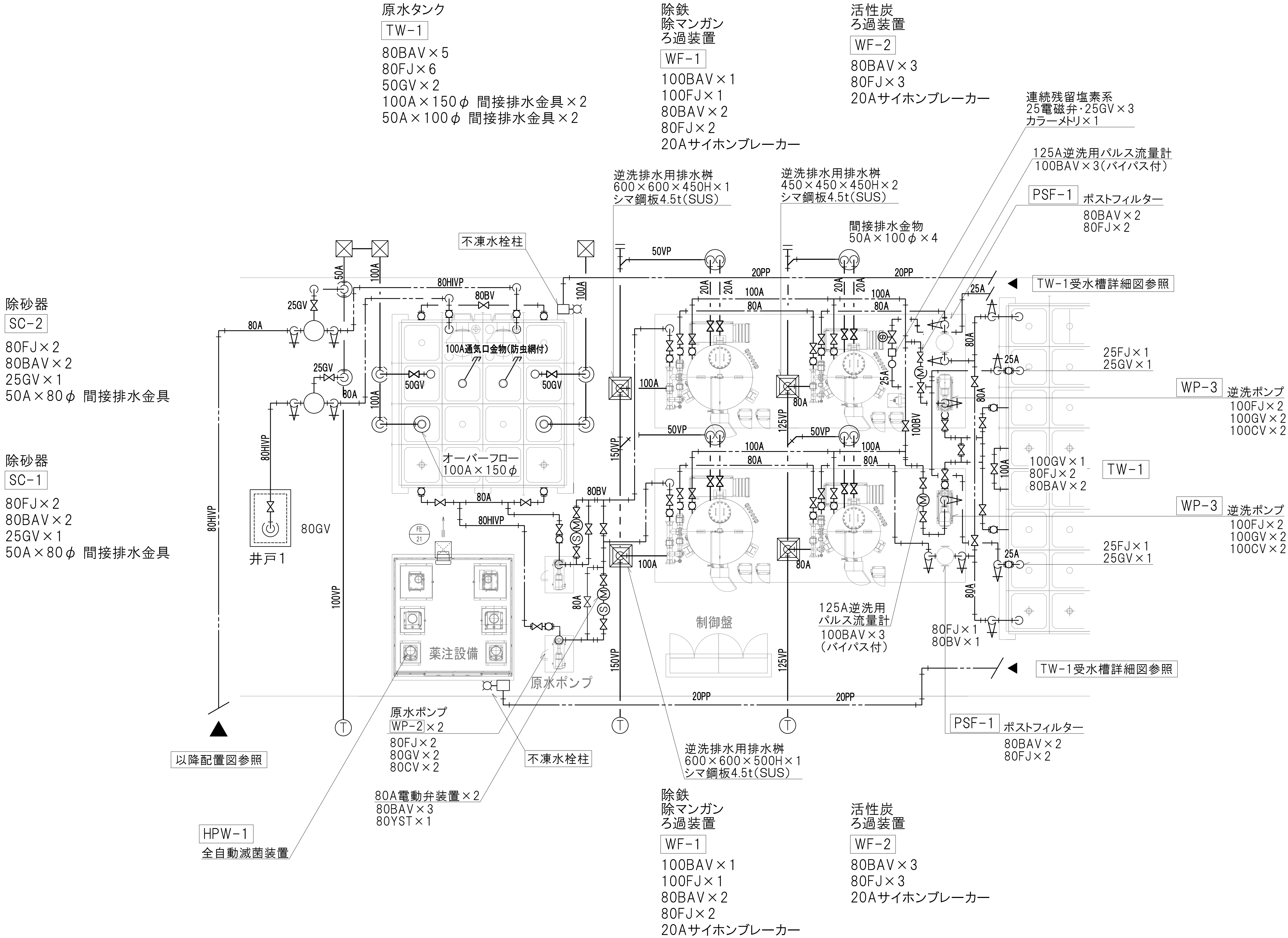
一級建築士登録
第101316号

栗原 憲 昭

一級建築士登録
第289308号

伏見 勇 男

縮尺
A1:1/20



株式会社 盛総合設計

代表取締役社長 栗原 将 光
宮城県仙台市青葉区上杉三丁目3-16 〒980-0011
TEL (代表) 022-222-6887 FAX 022-224-2397
事務所登録 宮城県 第23210188号

訂正

発行
2025.10

図番

川房地区複合型国芸施設整備事業 機械設備(その2)工事

図番
M-71

部長 次長 審査 担当

井戸工事 井水・ろ過装置廻り詳細図(1)

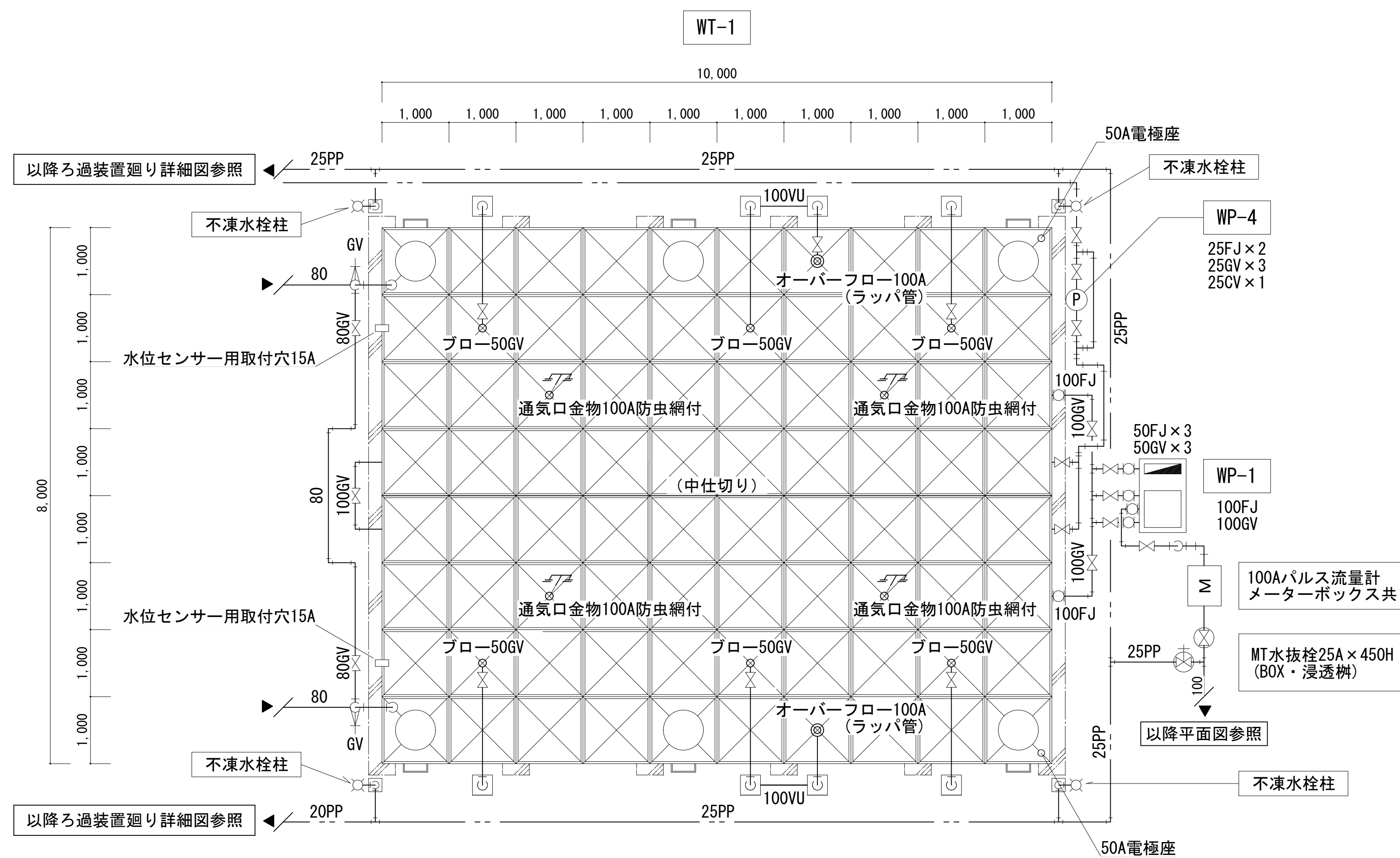
連番
A1:1/50

一般建築士登録
第101316号

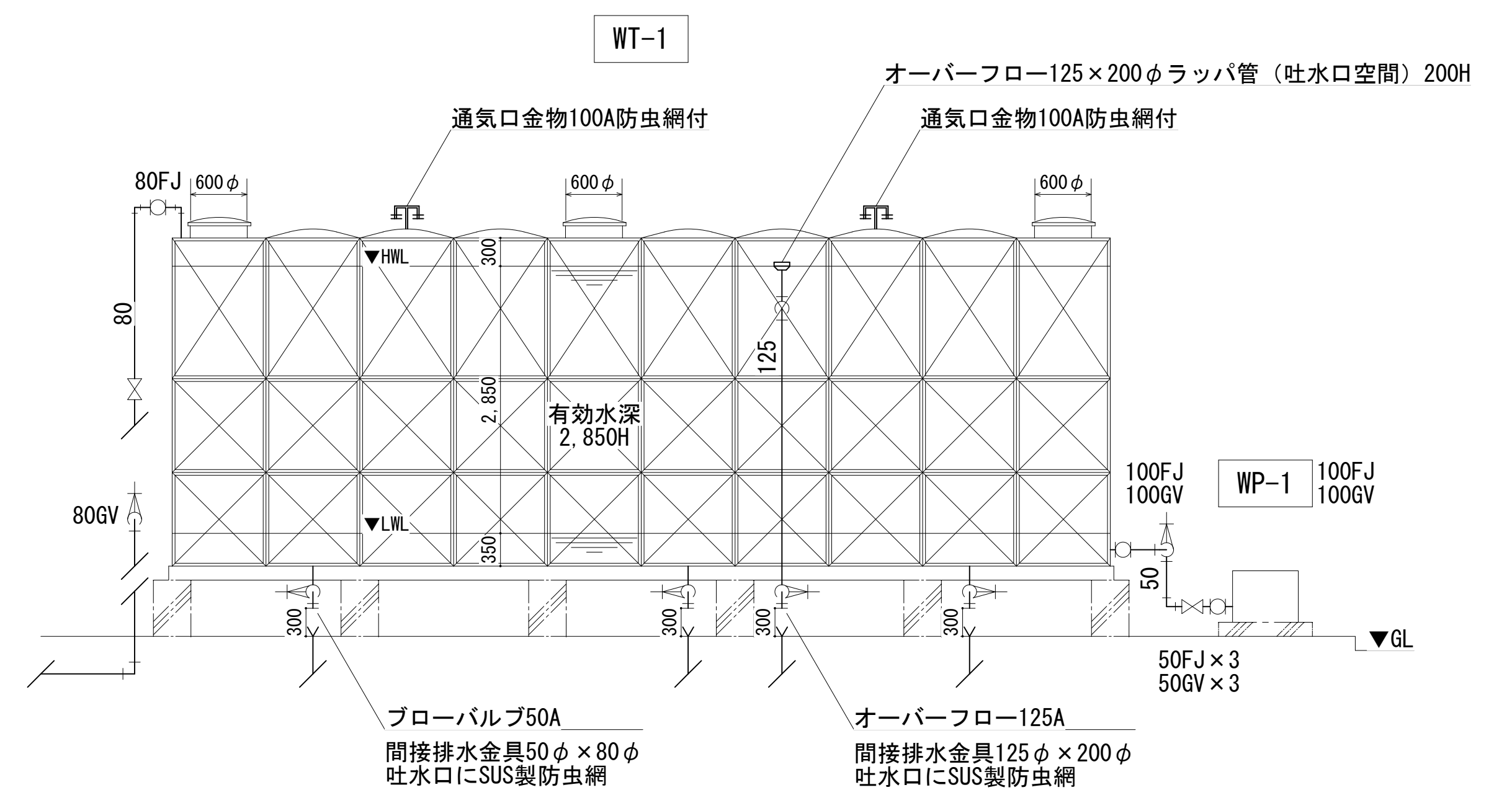
栗原 憲 昭

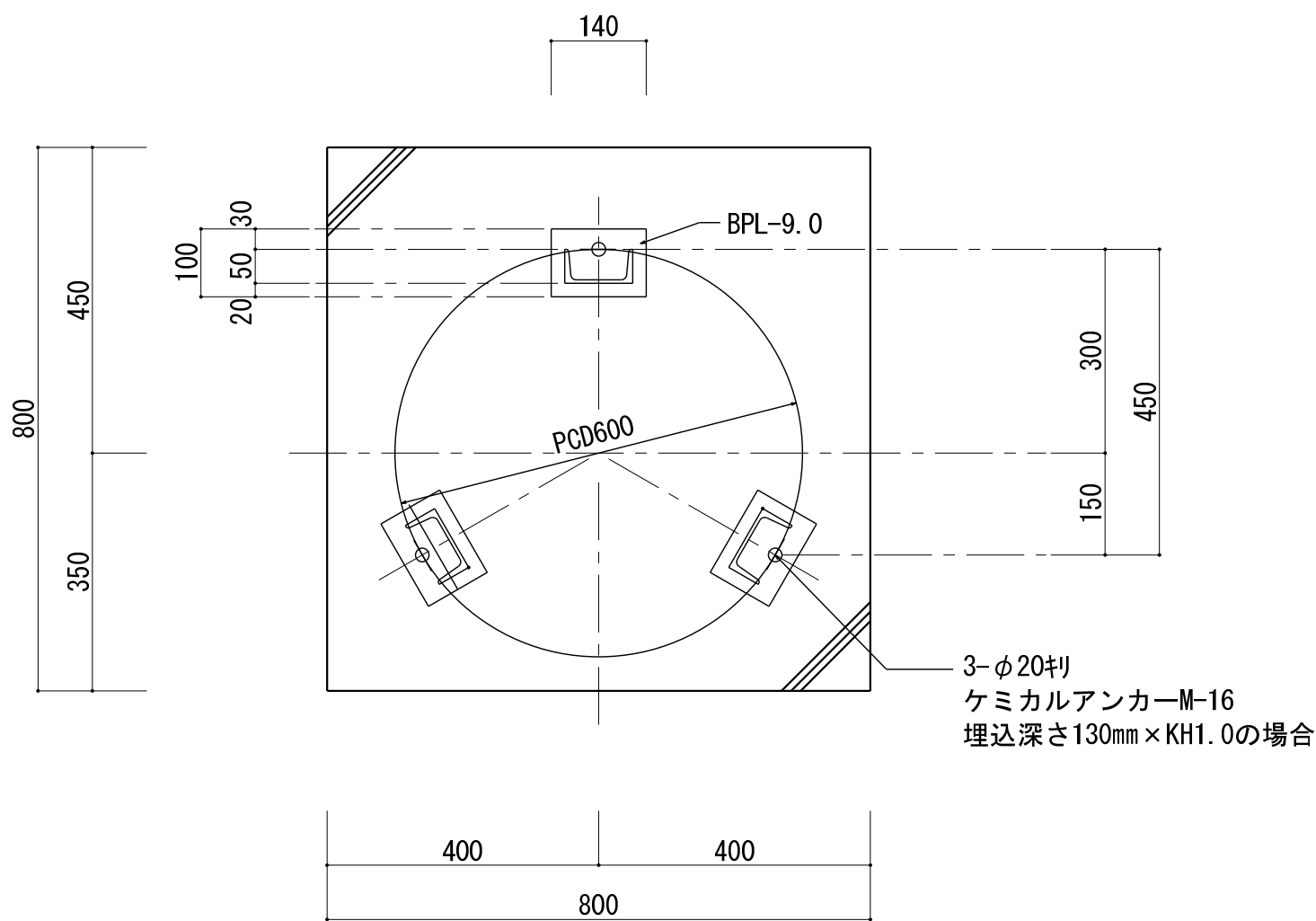
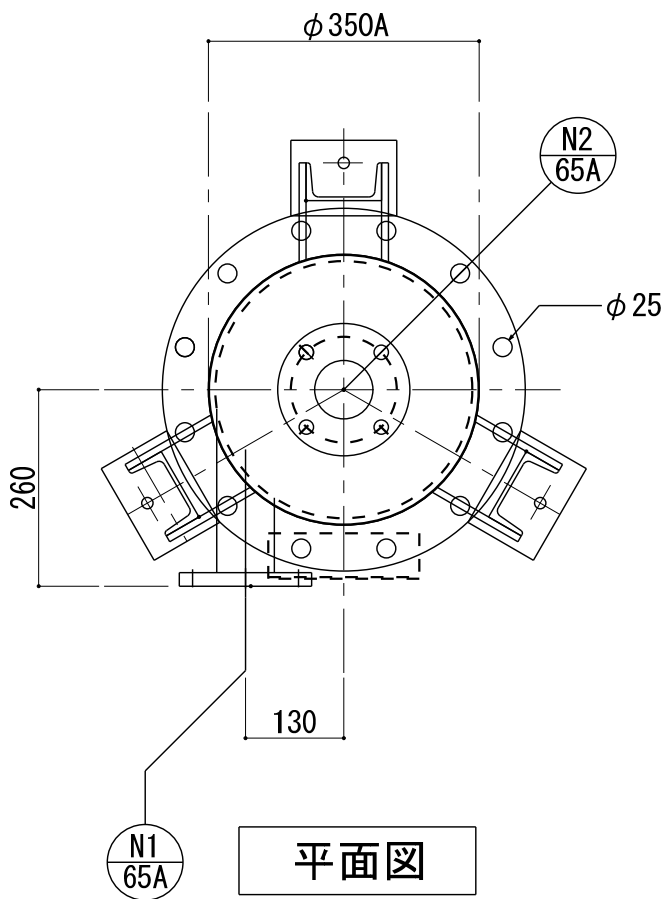
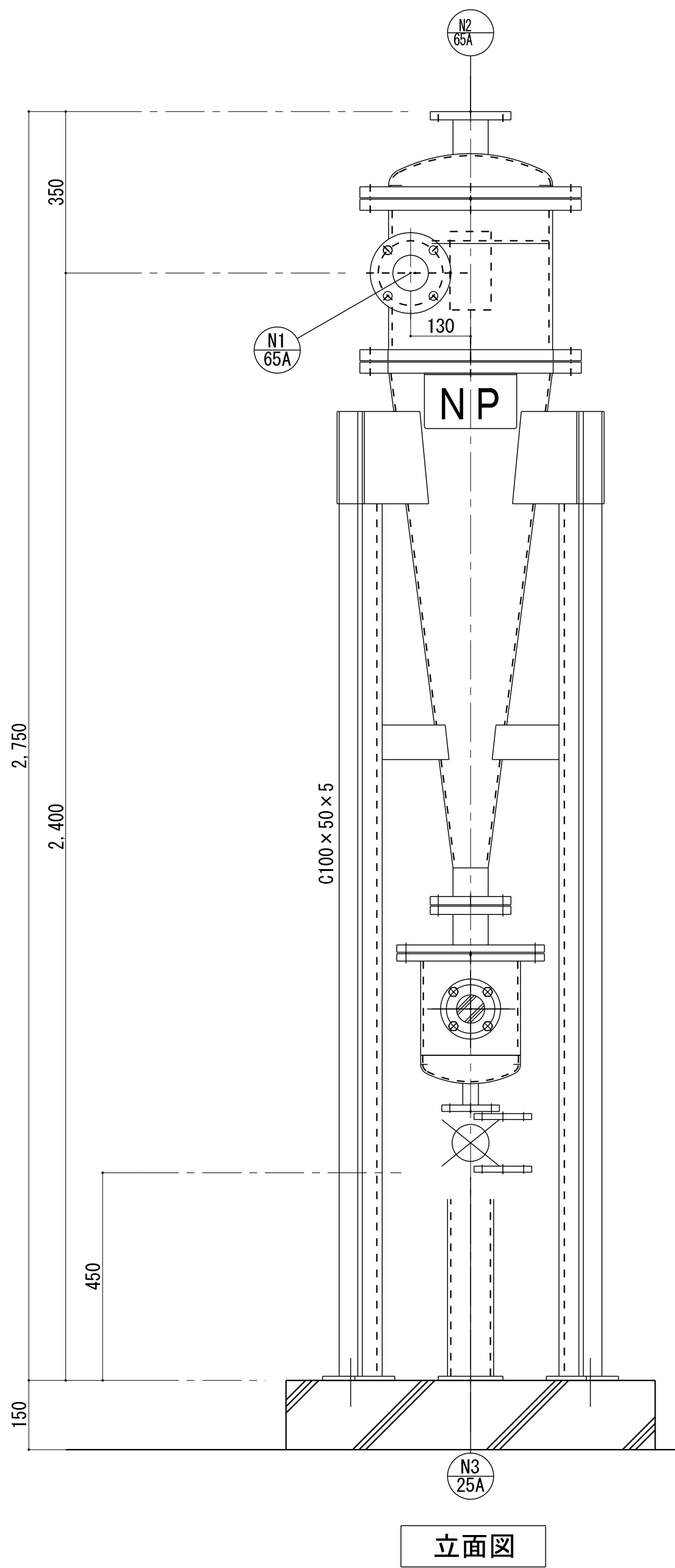
設計者
一般建築士登録
第289308号 伏見 勇 男

縮尺



※ 建築基準法36条及び令129条の2の4に適合するものとする。





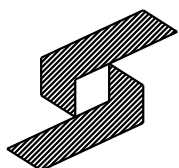
アンカープレート図

※基礎寸法参考図

機器仕様	
型式	TBSS-30
処理水量	～30.0m3/hr
缶体鏡板	SS400 t4.5 350A 10%
缶体胴板	SS400 t4.5
上部マンホール	350A JIS5K 締付ボルト12-22X85L (エコマッキ)
塗装	内面 素地調整:2種ケレン エポキシ樹脂塗装3回
	外面 素地調整:2種ケレン 変成エポキシ樹脂系錆止×3回 上塗り:ウレタン樹脂塗×2階(5Y7/1)
常用圧力	0.3MPa以下
運転重量	約350kg 製品重量 約220kg

ノズルリスト		
N1	原水入口	65A JIS10Kフランジ
N2	処理水出口	65A JIS10Kフランジ
N3	排砂口	25A JIS10Kフランジ

※メーカー名、品番の記載のある場合は、同等品以上とすること。



株式会社 盛総合設計

代表取締役社長 栗原 将 光
宮城県仙台市青葉区上杉三丁目3-16 〒980-0011
TEL (代表) 022-222-6887 FAX 022-224-2397
事務所登録 宮城県 第23210188号

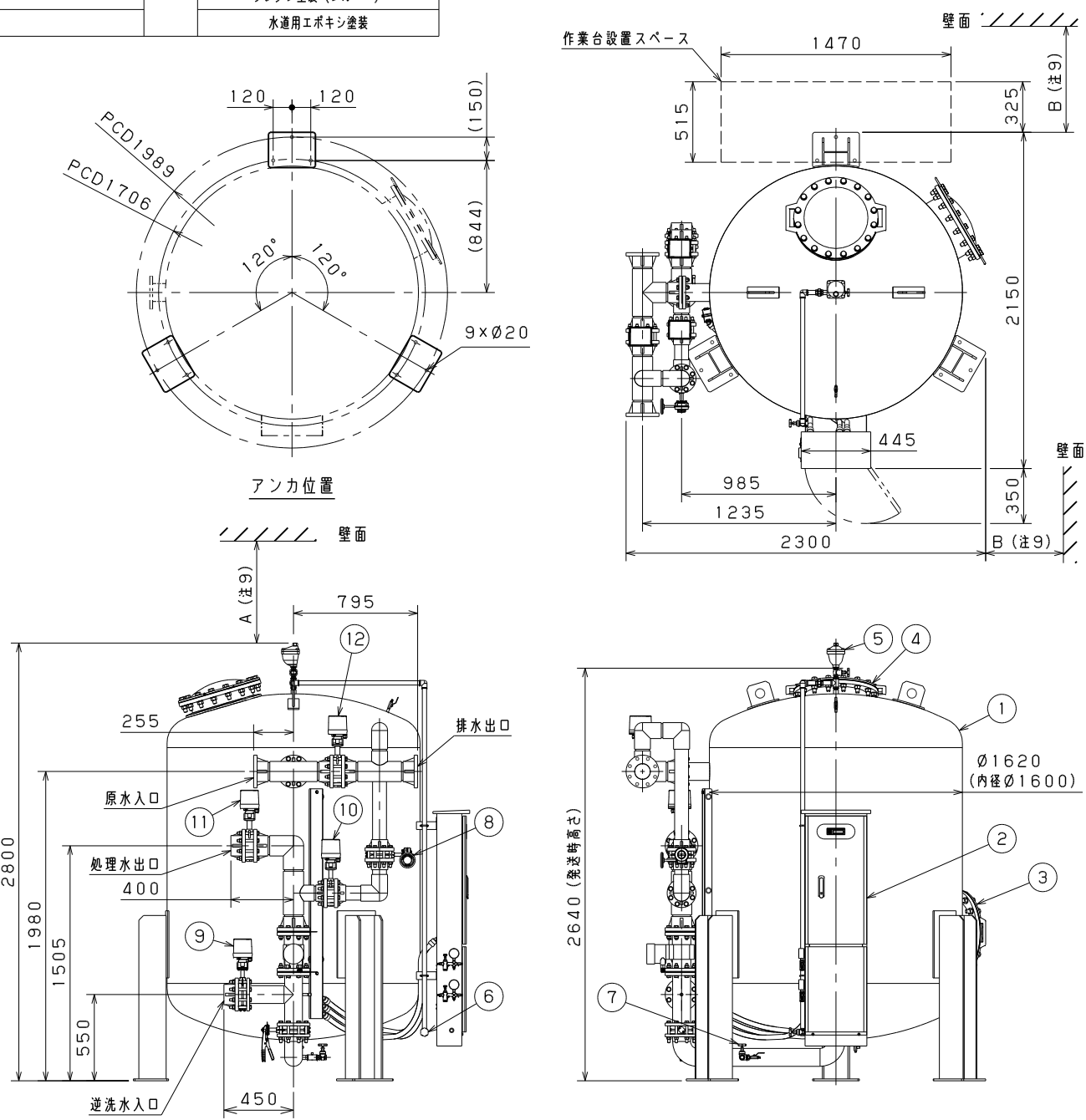
訂正

発行 2025.10		図 番	工事名 川房地区複合型国芸施設整備事業 機械設備(その2)工事		図 番	M-73
部長	次長		審査	担当		
井戸工事 サンドセパレーター仕様図		管理 者	一般建築士登録 第101316号 栗原 憲 昭		設計 者	一般建築士登録 第289308号 伏見 勇 男
縮 尺			A1:1/10			

項目	単位	除鉄器タイプ	砂ろ過
		WA-1900AMM	WA-1900ASM
アンナサイト		450	
ろ材			
Mセラミック		1,400	—
ろ過砂 (φ0.5)	L	—	1,400
砂			
4号 φ2~4		280	
7号 φ12~20		400	
最大処理水量 (注1)	m ³ /h	30	
逆洗流量 (注2)		60	
原水圧力範囲 (注3)	MPa	0.18~0.49	
原水温度範囲 (注4)	℃	4~40 (凍結不可)	
使用電圧	—	AC200V 50/60Hz 単相	
設置電力 (注5)	W	89 (395)	
接続口径			
原水入口		100xJIS10Kフランジ	
処理水出口		100xJIS10Kフランジ	
逆洗水入口		100xJIS10Kフランジ	
排水出口		100xJIS10Kフランジ	
電線質量 (注6)	kg	1,410	
運転質量 (注6)		7,230	7,620
タンク材質		SS400	
外装塗装	—	フタタン塗装 (シルバー)	
内装塗装		水道用エポキシ塗装	

注1. 最大処理水量は原水質により異なります。
数値は過水L V=15m³/hの流量です。
2. 逆洗流量は水温20℃時の流量です。
3. 原水圧力は0.18MPa以上が必要です。
4. 寒冷地では凍結防止等の凍結防止対策を行ってください。
5. ろ過装置本体のみの設置電力値です。
6. 設置質量はろ過装置のみ (ろ材を含まない) の質量です。
7. 作業台は標準装備となります (作業台外形図を参照)。
8. 運転質量はろ過装置のみ (ろ材を含まない) の質量です。
9. 設置上は、側面はろ材交換等に必要スペースです。
A:1000mm以上、B:700mm以上確保してください。

- ①ろ過塔
②制御ボックス
③下部マンホール
④ろ材投入口
⑤自動エア抜き弁
⑥手動エア抜き弁
- ⑦水抜き弁 20A
⑧水流流量調節弁
⑨逆洗モータバルブ
⑩水流排水モータバルブ
⑪出口モータバルブ
⑫逆洗排水モータバルブ

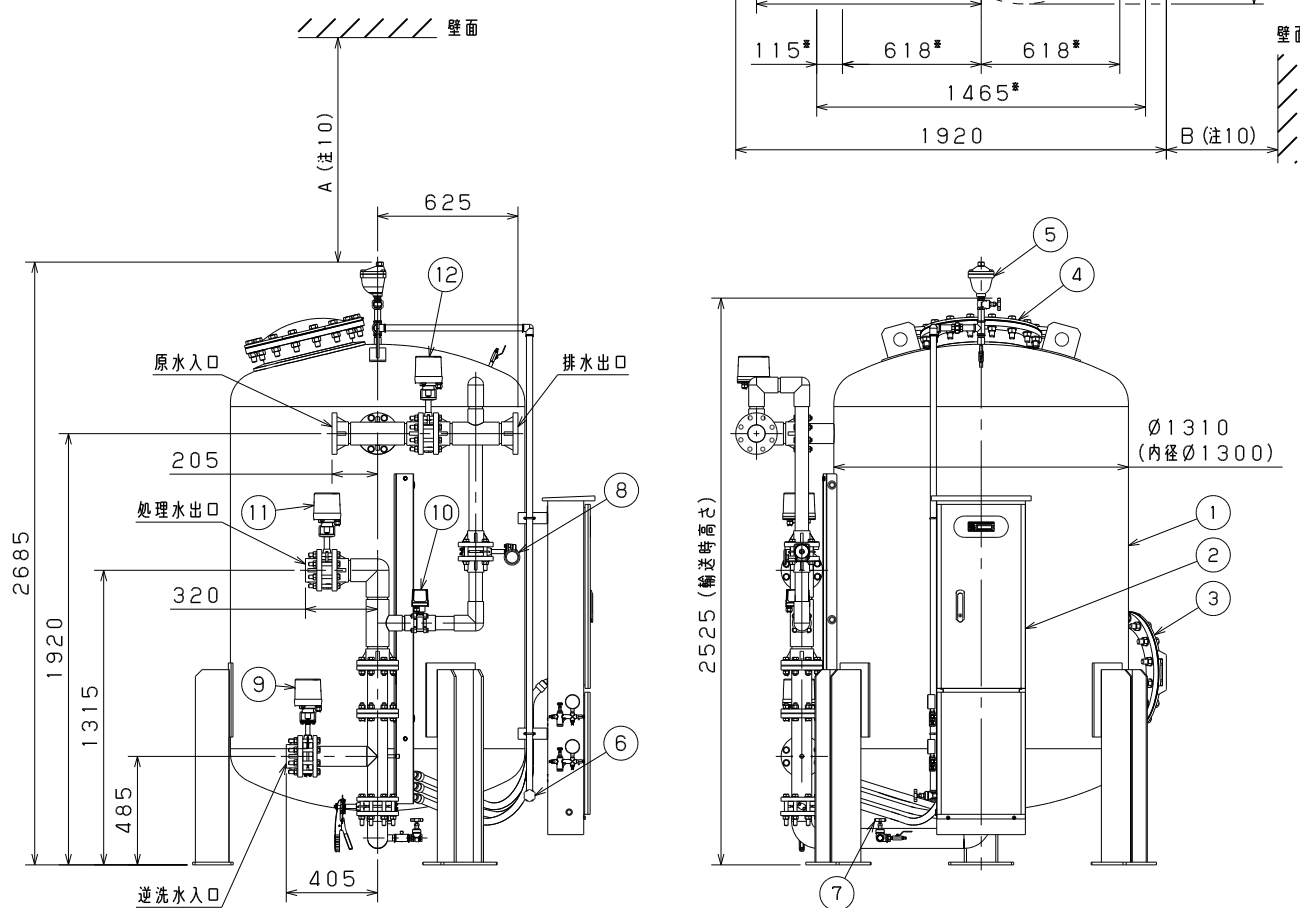


WF-1

除鉄・除マンガろ過装置

項目	単位	活炭ろ過
		WA-1200ACM
ろ材		
4号 φ2~4	L	1,168
7号 φ12~20		160
260		
標準処理水量 (注1)	m ³ /h	36
逆洗流量 (注2)		29
原水圧力範囲 (注3)	MPa	0.18~0.49
原水温度範囲 (注4)	℃	4~40 (凍結不可)
使用電圧	—	AC200V 50/60Hz 単相
設置電力 (注5)	W	64 (370)
接続口径		
原水入口		80xJIS10Kフランジ
処理水出口		80xJIS10Kフランジ
逆洗水入口		80xJIS10Kフランジ
排水出口		80xJIS10Kフランジ
電線質量 (注6)	kg	840
運転質量 (注6)		4,120
タンク材質	—	SS400
外装塗装		フタタン塗装 (シルバー)
内装塗装		水道用エポキシ塗装

- ①ろ過塔
②制御ボックス
③下部マンホール
④ろ材投入口
⑤自動エア抜き弁
⑥手動エア抜き弁
- ⑦水抜き弁 20A
⑧水流流量調節弁
⑨逆洗モータバルブ
⑩水流排水モータバルブ
⑪出口モータバルブ
⑫逆洗排水モータバルブ



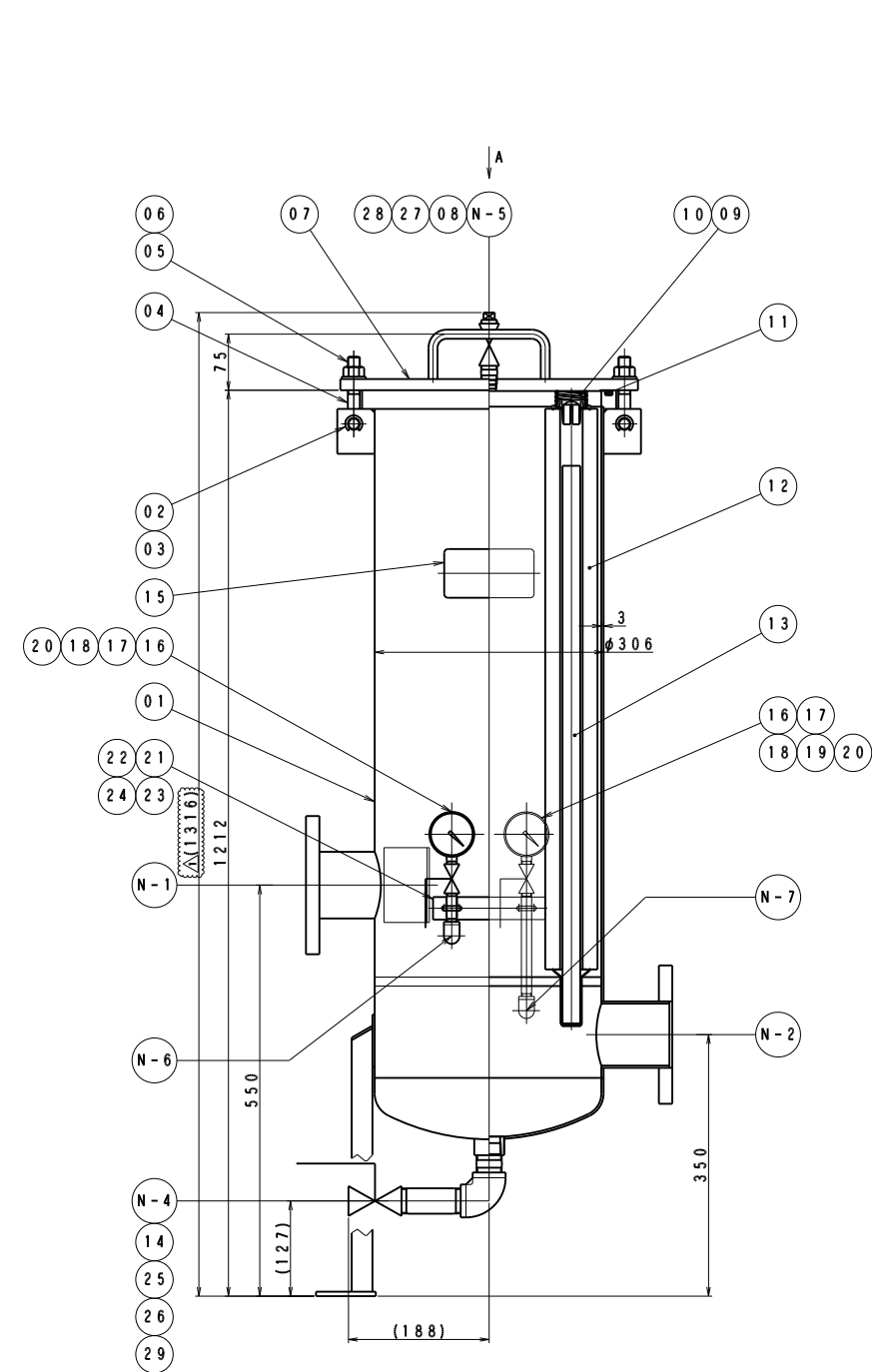
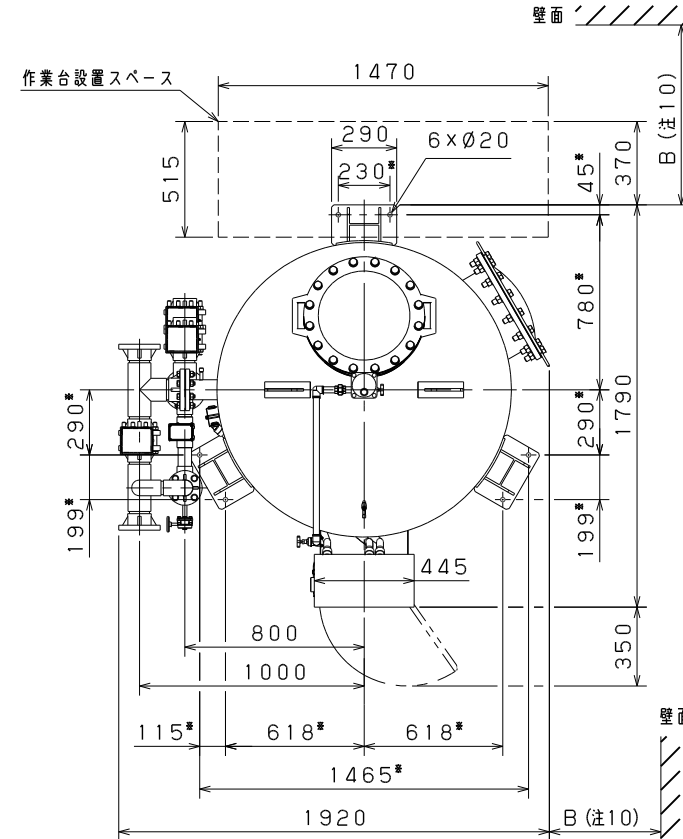
WF-2

活性炭ろ過装置

ろ過装置設備仕様図(1) 参考図 S=N/S

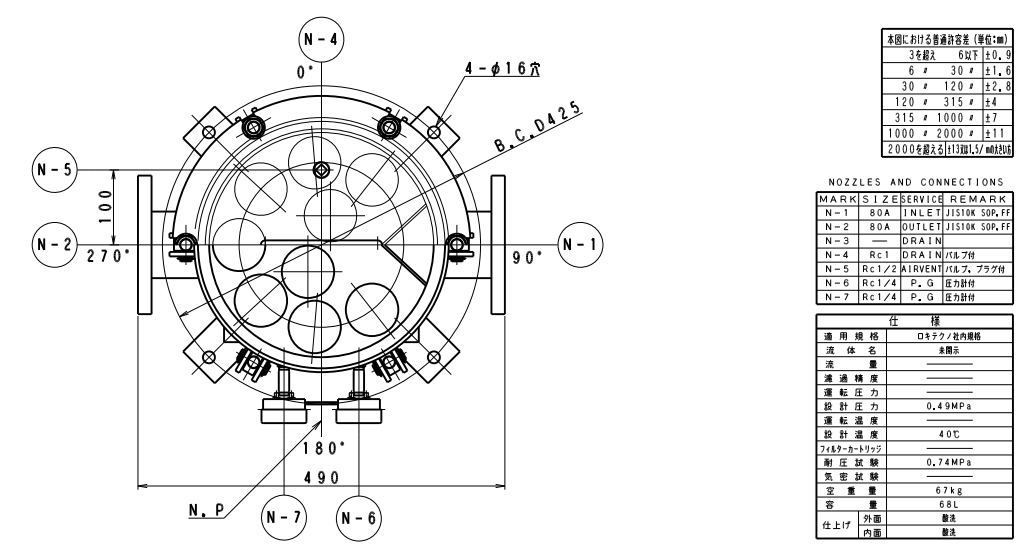
※メーカー名、品番の記載のある場合は、同等品以上とすること。

注1. 標準処理水量は過水SV=30BV/hでの値です。
原水質により処理水量は異なります。
2. 逆洗流量は水温20℃時の流量です。
3. 原水圧力は0.18MPa以上が必要です。
4. 寒冷地では凍結防止等の凍結防止対策を行ってください。
5. ろ過装置本体のみの設置電力値です。
6. 設置質量はろ過装置のみ (ろ材を含まない) の質量です。
7. 作業台はアンカ位置を示します。
8. 作業台は標準装備となります (作業台外形図を参照)。
9. 設置上は、側面はろ材交換等に必要スペースです。
10. 設置上は、側面はろ材交換等に必要スペースです。
A:1000mm以上、B:700mm以上確保してください。



PSF-1

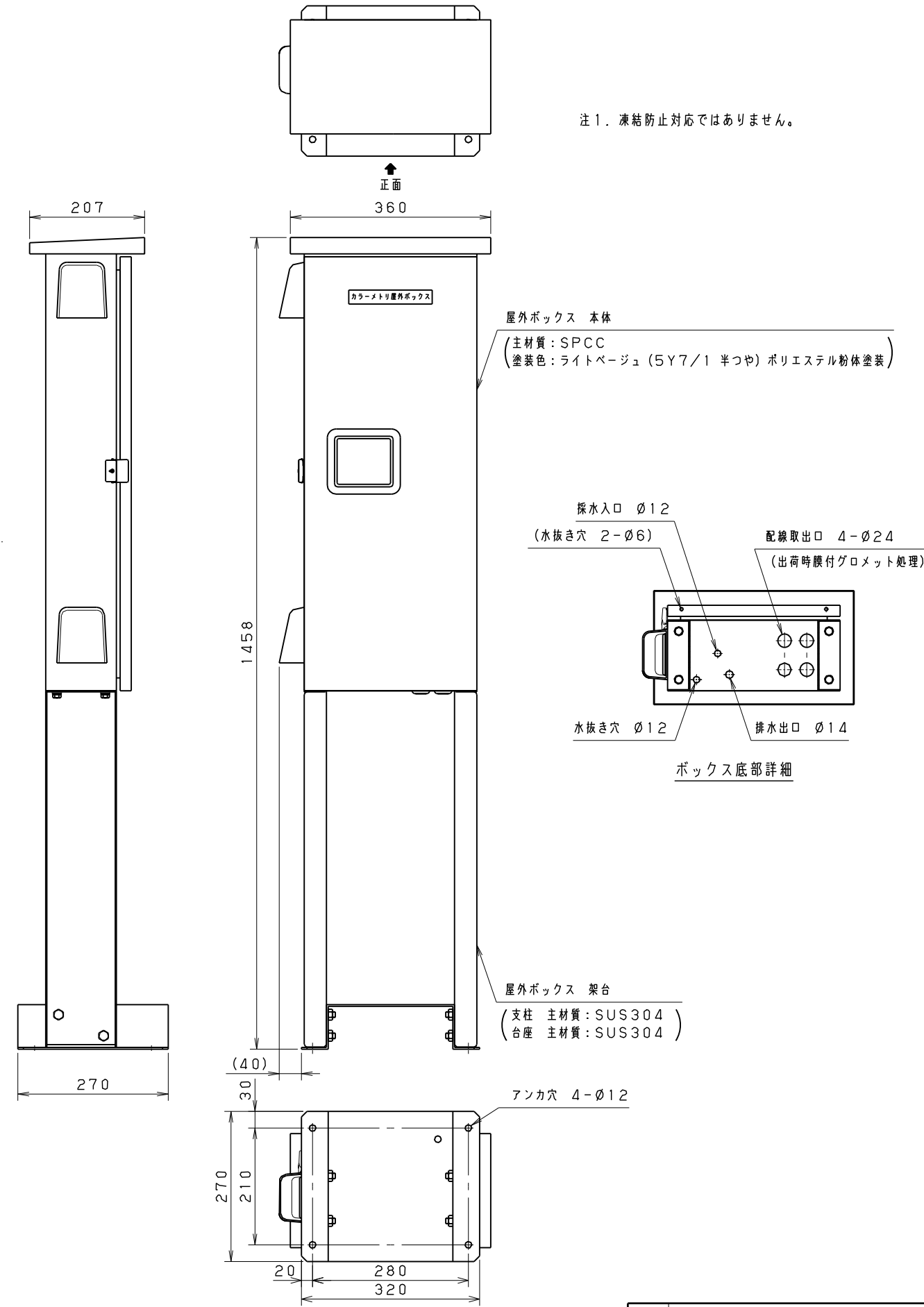
ポストフィルター



29	スチール	SUS304	1	18x100	1/2B
28	スチール	SUS304	1	18x100	1/2B
27	スチール	SUS304	1	1/2B	
26	スチール	SUS304	1	1/2B	
25	スチール	SUS304	1	1/2B	
24	スチール	SUS304	1	1/2B	
23	スチール	SUS304	1	1/2B	
22	スチール	SUS304	1	1/2B	
21	スチール	SUS304	1	1/2B	
20	スチール	SUS304	1	1/2B	
19	スチール	SUS304	1	1/2B	
18	スチール	SUS304	1	1/2B	
17	スチール	SUS304	1	1/2B	
16	スチール	SUS304	1	1/2B	
15	スチール	SUS304	1	1/2B	
14	スチール	SUS304	1	1/2B	
13	スチール	SUS304	1	1/2B	
12	スチール	SUS304	1	1/2B	
11	スチール	SUS304	1	1/2B	
10	スチール	SUS304	1	1/2B	
09	スチール	SUS304	1	1/2B	
08	スチール	SUS304	1	1/2B	
07	スチール	SUS304	1	1/2B	
06	スチール	SUS304	1	1/2B	
05	スチール	SUS304	1	1/2B	
04	スチール	SUS304	1	1/2B	
03	スチール	SUS304	1	1/2B	
02	スチール	SUS304	1	1/2B	
01	スチール	SUS304	1	1/2B	

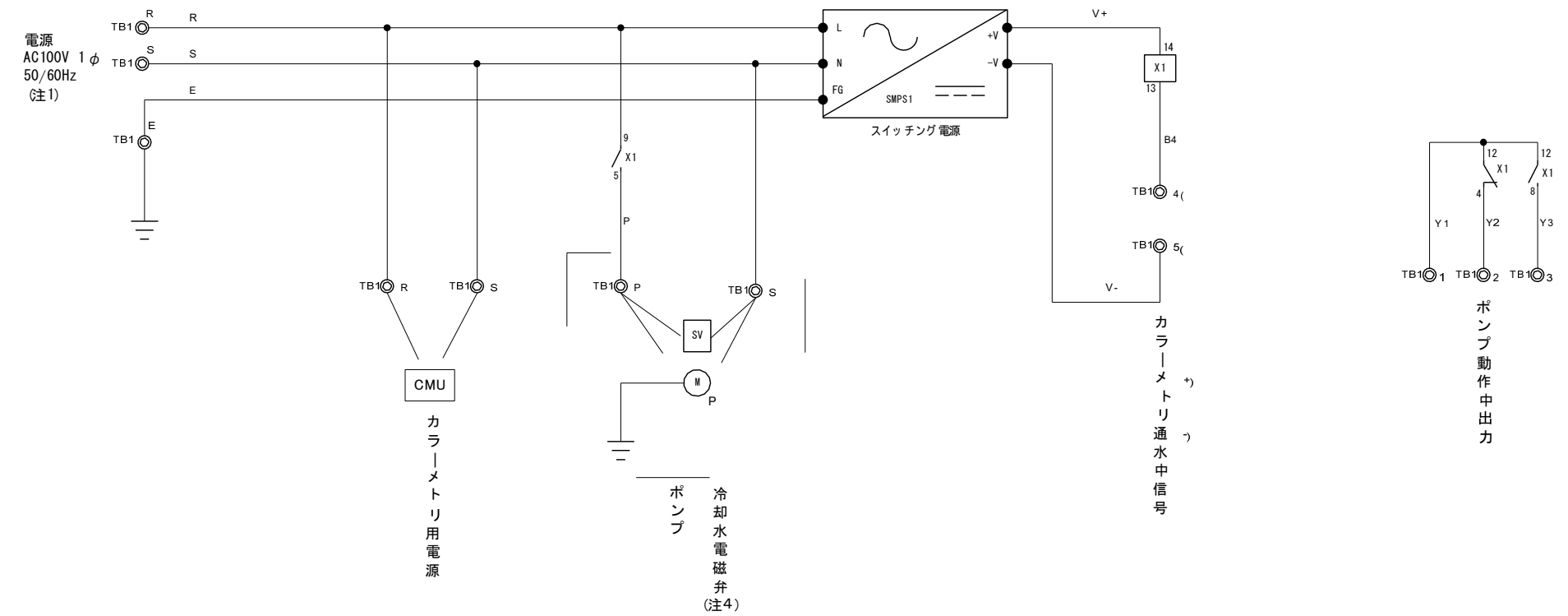
5. 5 3MPa~750~89~NF
0.49MPa 0.49MPa

項 目	単 位	カラーメトリ屋外ボックス
製 品 質 量	k g	1.9



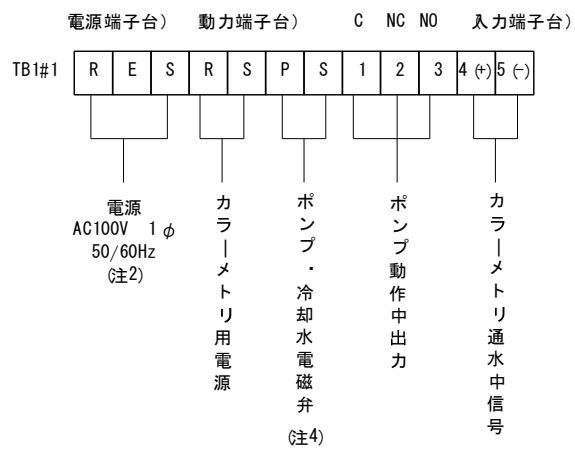
図名 外形図

- 注1電気配線は指定の電線径で接続し、確実に接地工事 (種接地工事以上)を実施してください。
電源の接続は、電源の接地相をS相に接続してください。
専用電源として漏電遮断器 (過電流保護装置付き)を使用してください。
2. 出荷時配線済み。
3. 現場配線です。
4.熱交換器ユニット高温水仕様を使用する場合のみ接続が必要です。

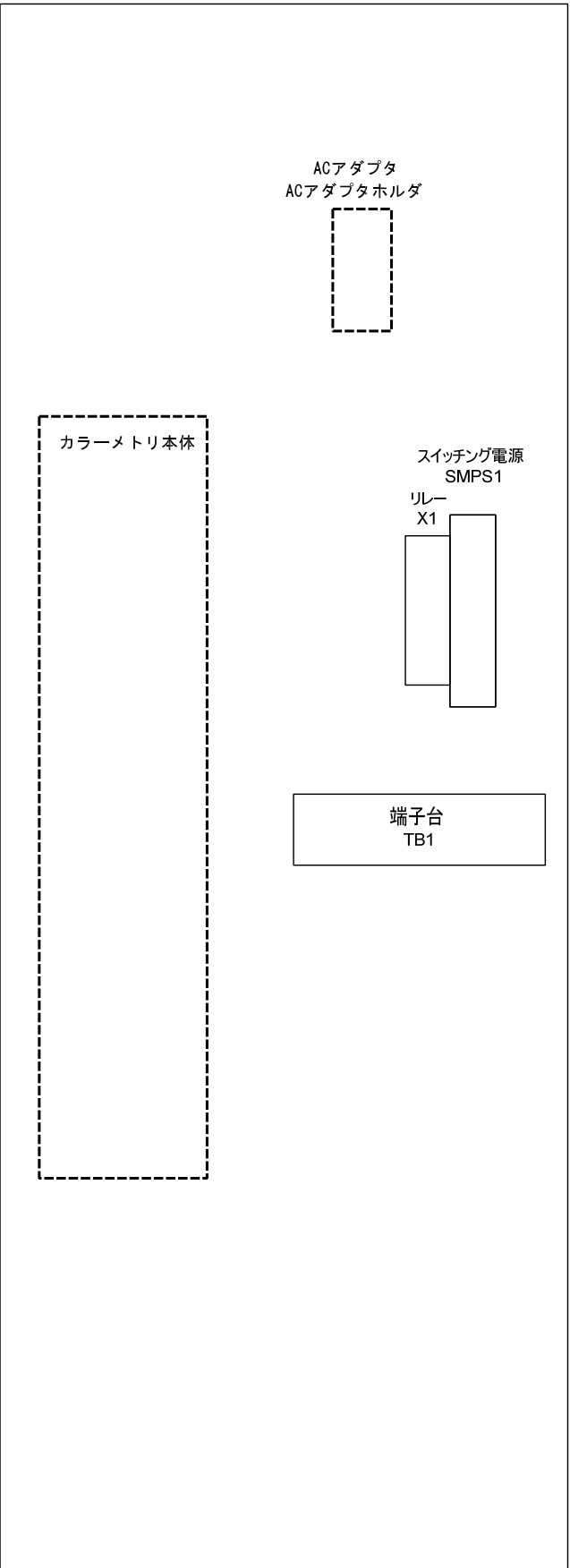


図名 シーケンス

- 注1電気配線は指定の電線径で接続し、確実に接地工事 (種接地工事以上)を実施してください。
電源の接続は、電源の接地相をS相に接続してください。
専用電源として漏電遮断器 (過電流保護装置付き)を使用してください。
(定格電圧100V、定格電流5A、定格感度電流30mA)
2.電源線は2.0mm²電線で配線してください。指定無き配線は1.25mm²電線で施工してください。
3.動力・電源配線と信号配線は多芯ケーブル等の同一ケーブルで配線せず、ケーブルを分けて接続してください。
また、動力・電源配線と信号配線は電線管を分けて配線してください。機器が動作不良を起こす可能性があります。
4.熱交換器ユニット高温水仕様を使用する場合のみ接続が必要です。
5.通水信号の入力(4(+),5(-))は極性に注意して配線してください。



図名 外部配線図



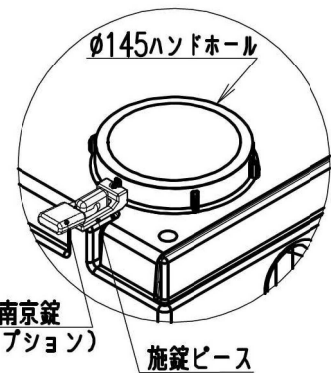
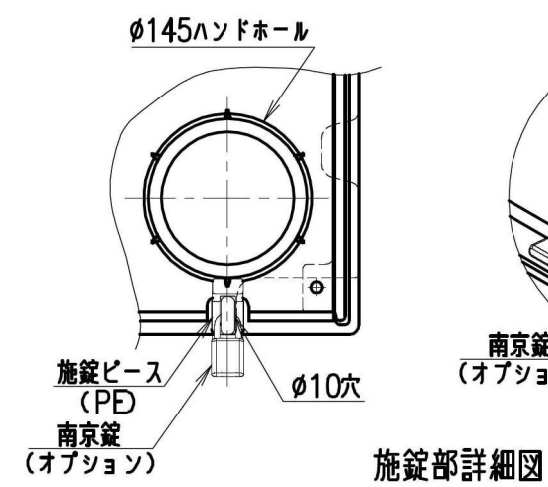
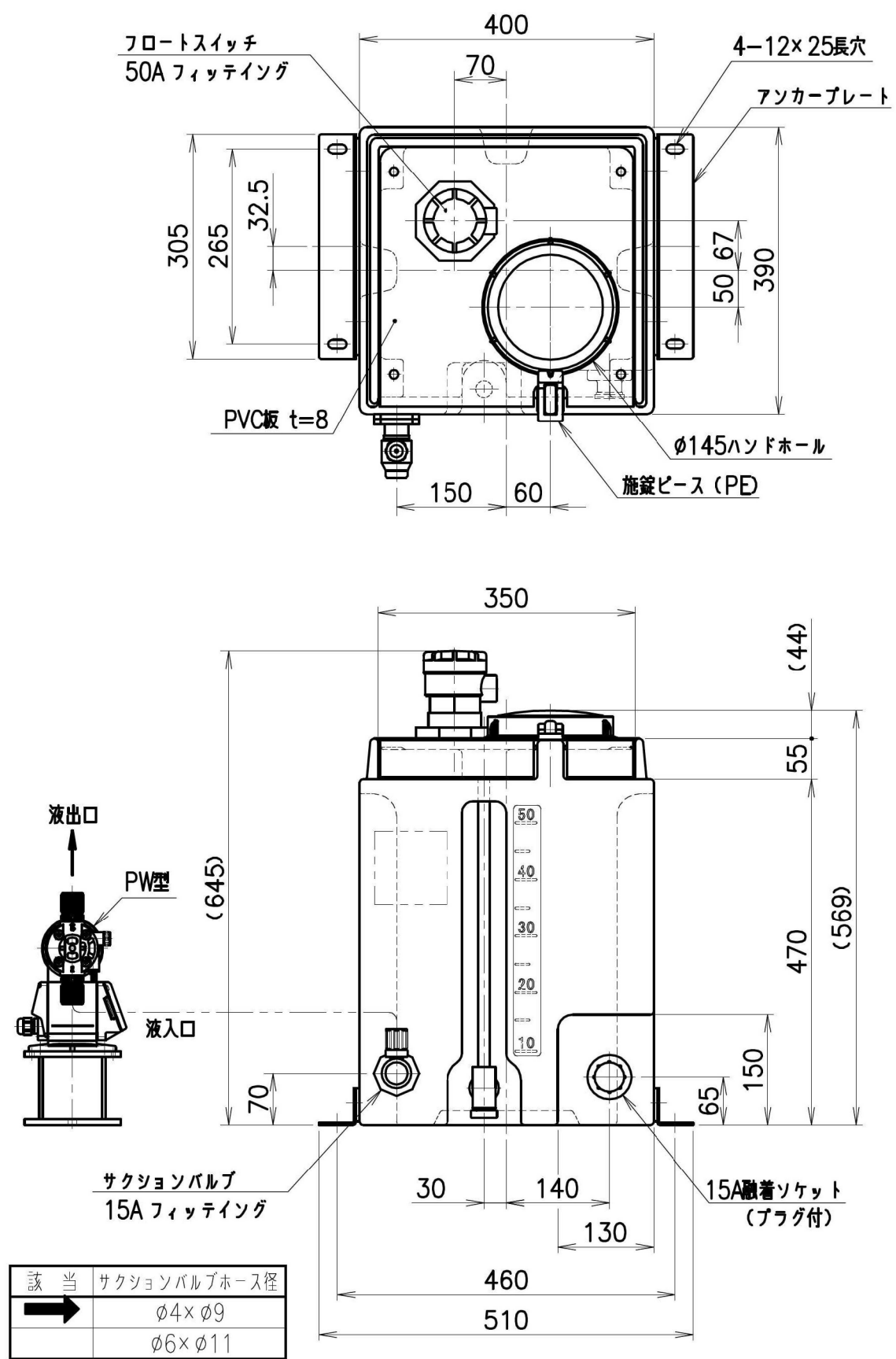
注1.凍結防止対応ではありません。

図名 制御機器配置図

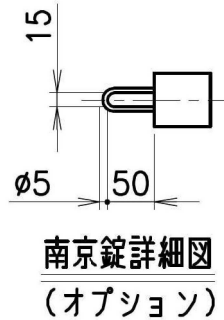
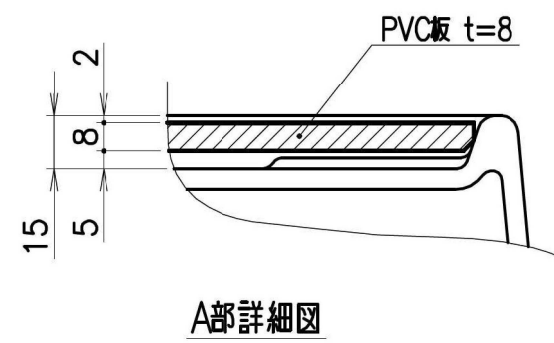
KAR-1 カラーメトリ

ろ過装置設備仕様図(2) 参考図 S=N/S

※メーカー名、品番の記載のある場合は、同等品以上とすること。



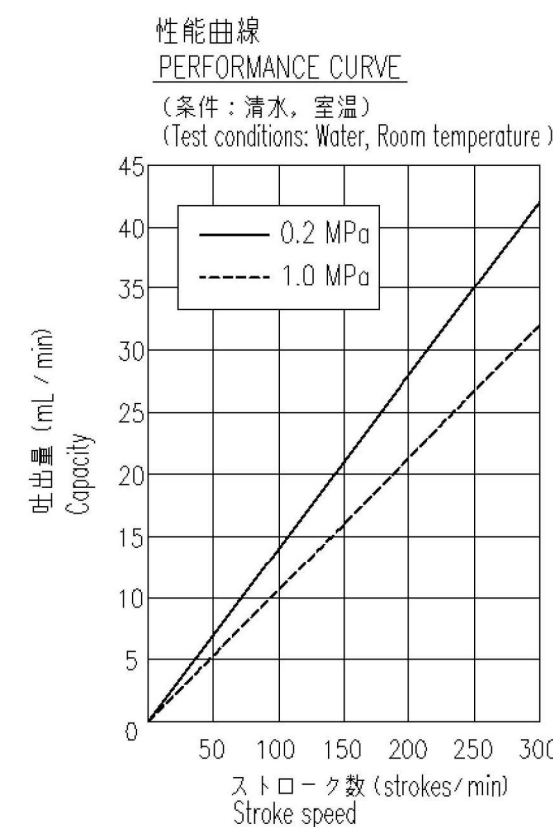
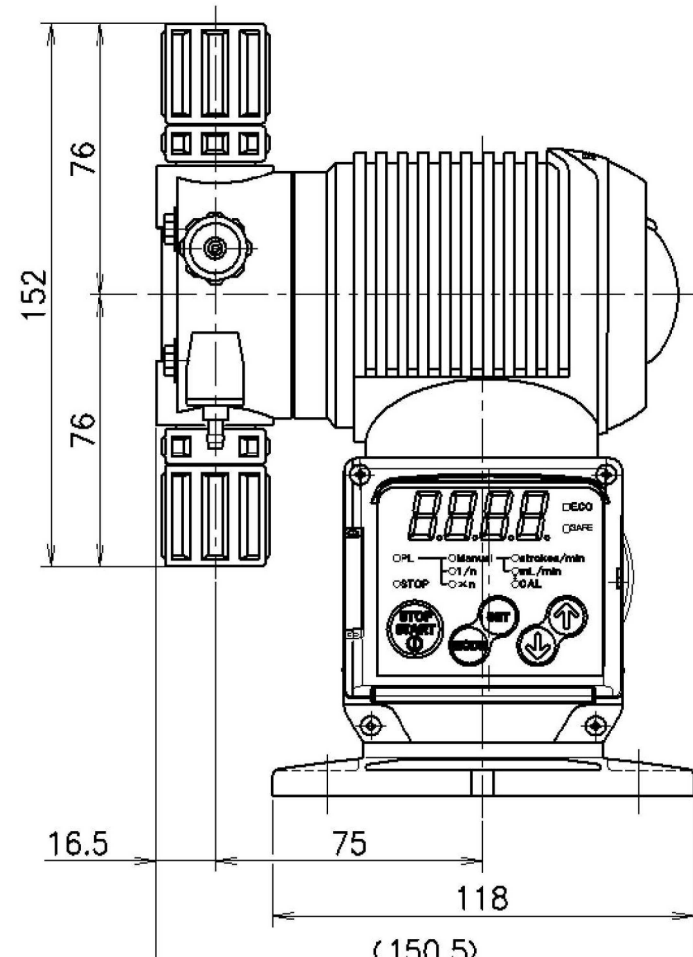
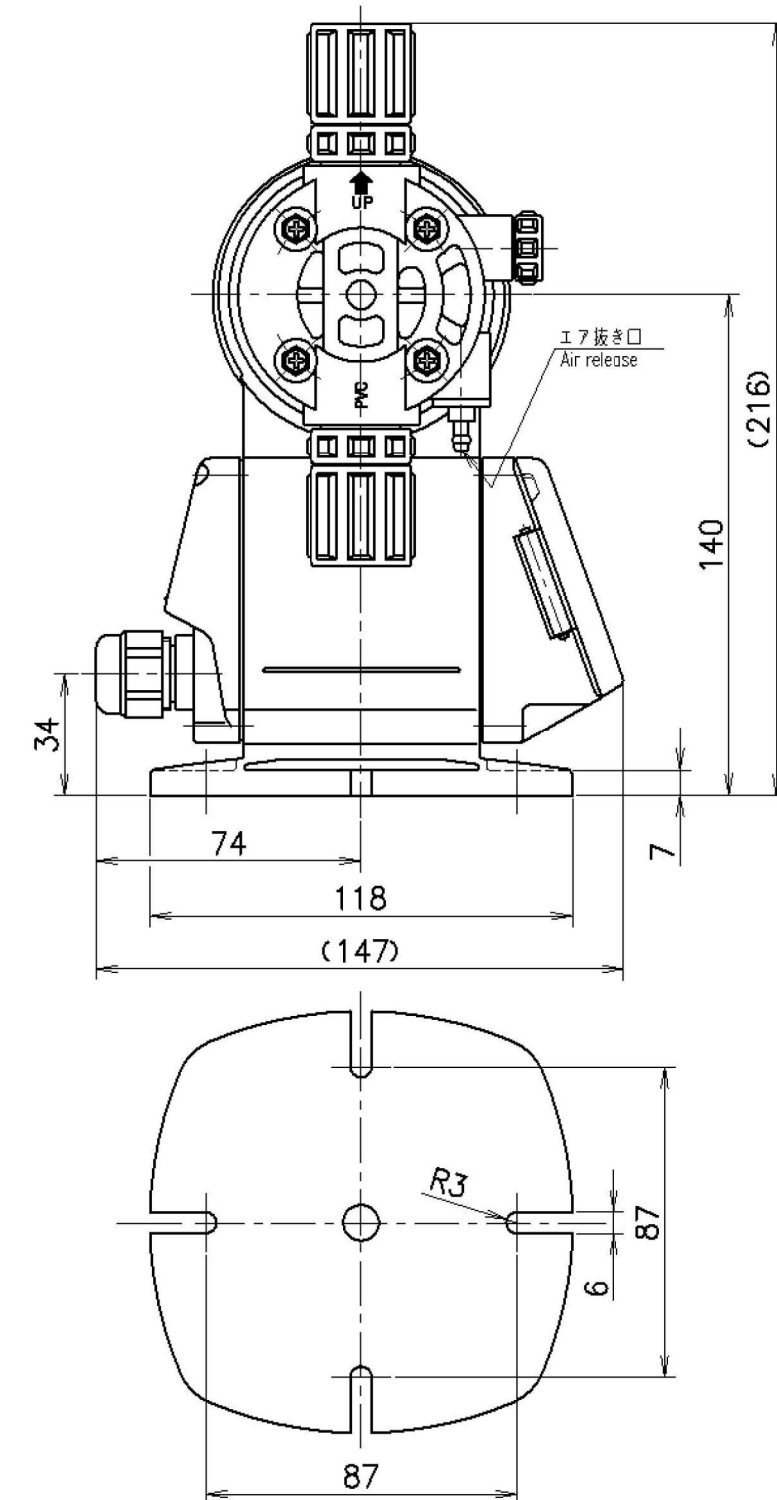
パッキン材質	
選定	仕様
	EPDM材質
	FKM材質



注記

1. 寒液比重1.67を超えないでください。
2. タンク色：黒
3. タンク寸法公差は、±1.5%以内とする。
4. 内容液によりパッキン材質が異なりますので御指示願います。
5. タンク本体材質：中密度PE (平均肉厚：t=5.8)
6. タンクは密閉ではありません。塩酸などガスを発生させる液体に使用される場合は発生したガスが周囲に影響をあたえる場合がありますのでご注意ください。
7. 使用温度範囲 (周囲温度：0~40℃ 液温：0~40℃) を超えないでください。
8. 次亜塩素酸ナトリウムには使用できません。
9. 南京錠はオプションです。

高比重用ソリューションタンク PESG-50
全体外形図



ポンプ仕様 (50/60Hz共通) PUMP SPECIFICATIONS (COMMON 50/60Hz)	
最大吐出量 Max. capacity	30 mL/min (1.80 LPH)
最高吐出圧力 Max. discharge pressure	1.0 MPa
吐出量調整 Capacity adjustment	ストローク数 Stroke speed 1~300 strokes/min (1 stroke単位で設定可) (Stop by 1 stroke.) ストローク長 Stroke length 有効範囲：50~100% Effective adjustment range
運転モード Operating mode	手動運転 Manual operating パルス入力比例運転 Pulse-input proportional operating
入力信号 Input signal	無電圧パルス又はオープンコレクタ Non voltage contact pulse or open-collector 2点 (パルス入力 / 停止入力) 2 ports (Pulse input / Stop input)
出力信号 Output signal	オープンコレクタ Open-collector 2点 (運転同期パルス出力 / 警報出力) 2 ports (Solenoïd-operation sync pulse output / Alarm output)
接続口径 Joint size	吐出側 Discharge side φ4×φ9 PVCホース PVC hose 吸引側 Suction side φ4×φ9 PVCホース PVC hose エア抜き口 Air release φ4×φ6 PVCホース PVC hose
駆動方式 Drive system	ソレノイド駆動方式 Solenoïd drive system
ソレノイド Solenoïd	型式 Type 5S 絶縁等級 Insulation class B
ポンプ色 Pump color	ソレノイドボックス Solenoïd box Munsell (Approx.) 10YR7.5/14 図録ボックス Catalog box Munsell (Approx.) N4.0
質量 Weight	1.8 kg

接液部材質 LIQUID-END MATERIAL		電源仕様 POWER SUPPLY	
ポンプヘッド Pump head	PVC	電源 Power	AC100~240V 单相 Single-phase
継手 Joint	PVC	周波数 Frequency	50/60 Hz
ダイヤフラム Diaphragm	PTFE/CR	最大電流 Peak current	2 A
弁座 Valve seat	特殊フッ素ゴム Special fluoro rubber	最大消費電力 Peak power consumption	200 VA
Oリング O-ring	フッ素ゴム Fluoro rubber	平均消費電力 Avg. power consumption	15 W
チェックボール Check ball	セラミック Ceramic	ケーブル Cable	φ5~φ10 キャブタイケーブル Cable tie cable

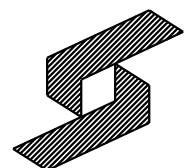
PW-30-VTCF-HWJ
全体外形図 General outline drawing

HPW-1

全自動滅菌装置 (希硫酸薬注装置)

ろ過装置設備仕様図 (3) 参考図 S=N/S

※メーカー名、品番の記載のある場合は、同等品以上とすること。



株式会社 盛総合設計

代表取締役社長 栗原 将 光
宮城県仙台市青葉区上杉三丁目3-16 〒980-0011
TEL (代表) 022-222-6887 FAX 022-224-2397
事務所登録 宮城県 第23210188号

訂正

発行
2025.10

図番

川房地区複合型園芸施設整備事業 機械設備(その2)工事

図番
M-76

ろ過装置設備仕様図 (3)

図番
A1N/S

部長 次長 審査 担当

一般建築士登録
第101316号

栗原 憲 昭

設計者

一般建築士登録
第289308号

伏見 勇 男

図番
A1N/S